

令和6年（2024年）版

事業概要



公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

目 次

I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会の概況

1 目 的	1
2 事 業	1
3 沿 革	1

II 組 織

1 組織図	8
2 役員・評議員	8
3 職員	9

III 施 設

	10
--	----

IV 令和6年度事業計画

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）	11
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業1）	12
3 被爆者の援護福祉事業（公益事業2）	12
4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）	12
5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）	14
6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）	14
7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	15

V 令和6年度予算

	16
--	----

VI 令和5年度事業実績

1 健康診断事業	
(1) 被爆者健康診断	17
ア 被爆者一般・精密検査の実施	17
イ 令和5年度被爆者一般・精密検査実施状況	19
ウ 被爆者がん検診等の実施	24
エ 令和4年度被爆者がん検診等実施状況	26
オ 原爆被爆二世健康診断の実施	34
カ 健康管理の推進	35
キ 健康診断医療機器等の整備	35
ク 被爆者健康管理資料の整備	35
ケ 黒い雨体験者相談・支援事業の補助	35
(2) 高齢者医療確保法・健康増進法等による健康診査等	
ア 健康診査等の実施	36
イ 令和5年度健康診査等実施状況	38

ウ	令和4年度がん検診等実施状況	38
エ	健康管理資料の整備	47
(3)	本協議会で発見した悪性新生物症例	48
2	被爆者の健康管理に関する調査研究事業	
(1)	調査研究の継続実施	50
(2)	文献の収集	50
(3)	原子爆弾後障害研究会の開催	50
3	被爆者の援護福祉事業	
(1)	被爆者相談	51
(2)	被爆者の援護措置	51
4	広島市健康づくりセンターの管理運営事業	52
(1)	健康教育事業	52
(2)	子育て支援事業	53
5	検査診療及び人間ドック健診等の収益事業	54
6	放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	54
7	令和5年研究業績	55

Ⅶ 資 料

1	年度別被爆者数（広島市及び広島県）	57
2	年賀寄附金配分金による実施事業	59
3	日本自転車振興会補助金による実施事業	60
4	車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業	60
5	広島県補助金による実施事業	61
6	広島市補助金による実施事業	62
7	日本高等学校教職員組合等からの寄付金	63
8	全国から寄せられた寄付金	65
9	核兵器廃絶・平和建設広島県民会議からの寄贈物品	69
10	日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品	70
11	職員	71

I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会の概況

1 目的

この法人は、原爆障害の研究及び原爆被爆者の健康管理の対策並びに原爆被爆者の援護の対策について審議し、その推進を図るとともに、原爆被爆者をはじめとする住民の健康の維持増進に寄与することを目的とする。

2 事業

この法人は前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 原爆被爆者の健康管理及び健康指導を行う事業
- (2) 原爆被爆者の障害及び健康管理に関する研究
- (3) 原爆被爆者の生活・健康・医療に関する相談及び原爆被爆者に対する援護を行う事業
- (4) 広島市健康づくりセンターの運営管理
- (5) 原爆被爆者の健康診断及び住民の健診事業の受託
- (6) その他目的達成に必要な事業

3 沿革

昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾攻撃によって潰滅的な被害を蒙った広島市の被爆生存者達は、永い占領期間中悲惨な状態のまま放置されていたが、昭和 26 年の講和条約の締結、占領政治の終結を契機として「被爆者を救え」という声がおこった。

なかでも日頃ケロイド患者に接する広島市医師会・外科会に属する医師たちは、広島市医師会を動かして県・市当局に働きかけた。その結果、昭和 28 年 1 月、原爆障害者の医療を組織的に推進するために、広島県・広島市をはじめ、県・市医師会、大学医学部、官公立病院等が一体となって、「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）を結成して活動を開始、昭和 31 年 4 月には「財団法人広島原爆障害対策協議会」に改組し、被爆者の健康診断、健康管理に関する調査研究、援護に取り組んできた。

平成元年 9 月、「広島市総合健康センター」への移転後は、一般市民を対象とする健康診査や健康増進事業、健康教育事業を加え、被爆者をはじめ全ての市民の健康の維持・増進、被爆者の福祉向上のために各種事業を実施している。平成 24 年 4 月には、広島県知事から公益財団法人として認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行した。

昭和 28 年 1 月	「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）の設立 事務局を広島市社会課内に設置
昭和 29 年 1 月	被爆者の合同診察を開始
2 月	原爆障害者の実態調査を実施
10 月	事務局を広島市民病院内に移設
昭和 30 年 5 月	原爆乙女 25 名の渡米治療に協力
昭和 31 年 4 月	「財団法人広島原爆障害対策協議会」（略称「広島原対協」）に改組、認可
9 月	原爆病院の完成とともに事務局を同病院内に移設
昭和 32 年 9 月	第 9 回保健文化賞、厚生大臣の表彰を受賞
昭和 33 年 2 月	原対協援護事業として原爆被爆者のうち生活困窮者を救済するため、生活援護金の給付を開始
11 月	お年玉付郵便葉書寄付金の配分団体に指定

昭和 34 年 6 月	第 1 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 36 年 4 月	「広島原爆被爆者福祉センター」建設工事落成
5 月	「広島原爆被爆者福祉センター」落成とともに事務局を同センター内に移設
6 月	第 3 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	被爆者健康診断、職業補導、生活相談等の業務を開始
8 月	『広島原爆医療史』を発刊
昭和 38 年 10 月	「広島原爆被爆者健康管理所」を開設
11 月	第 5 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 39 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の暖房設備工事完成
9 月	オデルカ・カメラを搭載した健康診断車「平和号」で被爆者の胃出張検診を開始
昭和 40 年 10 月	第 7 回「原子爆弾後障害研究会」を開催し研究講演集『20 年のまとめ』を発刊
昭和 42 年 5 月	精密健康診断車(ひかり号)を購入
6 月	日本自転車振興会・島根県・広島市・江津市の補助金を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を建設、被爆者の入湯療養を開始
昭和 43 年 7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の新館増築工事並びに旧館改造工事落成
10 月	第 9 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
11 月	自動分析機(オートアナライザー)を設置
昭和 44 年 2 月	日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」暖房設備工事等完成
3 月	テレビジョン X 線カメラを設置
8 月	勤労被爆者のため、広島原爆被爆者福祉センターで日曜健診を開始 続広島原爆医療史『被爆者とともに』を発刊
昭和 45 年 4 月	子宮がん検診を開始
5 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の増築工事落成
6 月	第 11 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 46 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の増改築、空調設備改良工事完成
6 月	第 12 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 「広島原爆被爆者福祉センター」開設 10 周年記念展示会を開催
昭和 47 年 5 月	全自動化学分析装置(ハイゼルマーク X)、自動血球計算装置(コールターカウンター)を設置
昭和 48 年 4 月	広島市の周辺町村合併にともなう被爆者健診対象者の大幅増加(約 17,000 人)により、出張健診班を 2 班編成
6 月	第 14 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	被爆二世の不安を除去するため、被爆者の子に対する健康診断を開始(広島市委託事業)
昭和 49 年 5 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を購入
7 月	広島県・広島市からの助成により「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷房設備工事完成
12 月	肺機能検査機(パンスパイロコンピューター)を設置
昭和 50 年 4 月	勤労被爆者のため月 1 回夜間健診を開始
6 月	第 16 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 51 年 6 月	胃集検用テレビレントゲン設置及び自動血球計算装置を増設
昭和 52 年 6 月	第 18 回「原子爆弾後障害研究会」を開催

昭和 53 年 7 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室増改築等工事完成 X線テレビジョン設置及び胸部一般撮影用 X線装置を更新整備
8 月	勤労被爆者のため月 1 回日曜出張健診を開始
昭和 54 年 4 月	被爆者の胃検診(昭和 62 年に名称を「胃がん検診」に変更)を開始(広島市委託事業)
6 月	第 20 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 55 年 2 月	国の施策による被爆者二世健康診断を開始
8 月	自動血球分類装置(Diff-3)を設置
昭和 56 年 5 月	第 22 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」開設 20 周年記念パネル展示会を開催
10 月	広島県・広島市の補助を受け「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋根防水改修その他工事完成
昭和 57 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2 号車)を購入
昭和 58 年 6 月	第 24 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 59 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を更新整備
昭和 60 年 6 月	第 26 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の車庫上屋根新設工事等完成
昭和 61 年 7 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR501(立位専用システム)設置及び胃透視用 X線テレビ装置更新整備
昭和 62 年 3 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR502(臥位専用システム)設置及び一般撮影用 X線装置更新整備
4 月	被爆者の肺がん検診を開始(広島市委託事業)
6 月	第 28 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の食堂拡張工事等施設整備工事完成
昭和 63 年 8 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR201、CR 専用 X線透視撮影台及び CR 用光ディスク画像ファイル装置を設置
8 月	国の施策による被爆者のがん検診(胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、多発性骨髄腫)を開始
平成元年 3 月	自動血球計算装置(コルターカウンター)を更新整備及びフィルムデジタイザー、光ディスク画像ファイル装置を設置
6 月	第 30 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9 月	新規事業の受託に対応するため、寄附行為の一部を改正 「広島市総合健康センター」への移転に当たり、「広島原爆被爆者福祉センター」の施設を広島市に寄贈 「広島市総合健康センター」の開館に伴い、診療所名を「広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター」に改称 老人保健法健康診査及び結核定期健康診断を開始 CR 専用 X線透視撮影台及び心電図自動解析データファイリングシステムを設置
平成 2 年 4 月	老人保健法基本健康診査(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)・結核定期健康診断の集団健診及び老人保健法・被爆者の出張がん検診(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)を開始

-
- 8月 磁気共鳴画像診断装置(MRI)を設置
- 平成3年3月 夜間健診を中止
- 4月 被爆者の大腸がん検診を開始(広島県・市委託事業)
- 6月 第32回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8月 X線骨密度測定装置及び超音波診断装置を設置
- 平成4年4月 被爆者・老人保健法の安芸区の出張がん検診を開始
- 5月 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501 を更新整備
- 8月 自動血球計算装置搭載健康診断車(2号車)を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の内部・外部改修工事等施設整備工事完成
- 10月 国の施策による被爆者の大腸がん検診を開始
- 11月 老人保健法による大腸がん検診を開始
- 平成5年4月 被爆者・老人保健法の安佐南区・安佐北区の出張がん検診を開始
- 6月 第34回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8月 胃集検用X線撮影装置(デジタルラジオグラフィ)を更新整備
- 平成6年4月 事務局組織改正。2課1室を3課2室制に改める。
- 5月 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 を更新整備
- 9月 自動血球計算装置搭載健康診断車(1号車)を更新整備
- 平成7年4月 被爆者の骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
- 5月 原爆被爆50周年記念特別講演会を開催
第36回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 6月 内視鏡デジタルファイリングシステムを更新整備
- 8月 CR用X線透視撮影装置を更新整備
- 10月 市民を対象とする骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
- 平成8年4月 老人保健法による肺がん集団検診を開始
- 7月 CR用X線透視撮影装置を更新整備
- 8月 既設MRI装置をバージョンアップ
- 平成9年4月 市民を対象とするマンモグラフィによる乳がん検診を開始(広島市委託事業)
- 6月 第38回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7月 X線骨密度測定装置を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室・浴槽等改修工事完成
- 平成10年8月 糖尿病予防対策事業を開始
「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋上陸屋根防水工事完成
コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 及び心電図データマネジメントシステムを
更新整備
- 10月 C型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)を開始(広島市委託事業)
- 平成11年6月 第40回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 9月 DRシステムX線テレビ装置を整備
- 平成12年9月 超音波診断装置を更新整備
- 平成13年1月 MRI装置を更新整備
- 6月 第42回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 平成14年3月 デジタル超音波診断装置を更新整備
- 7月 自動血球計算装置を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷暖房設備改修工事完成
-

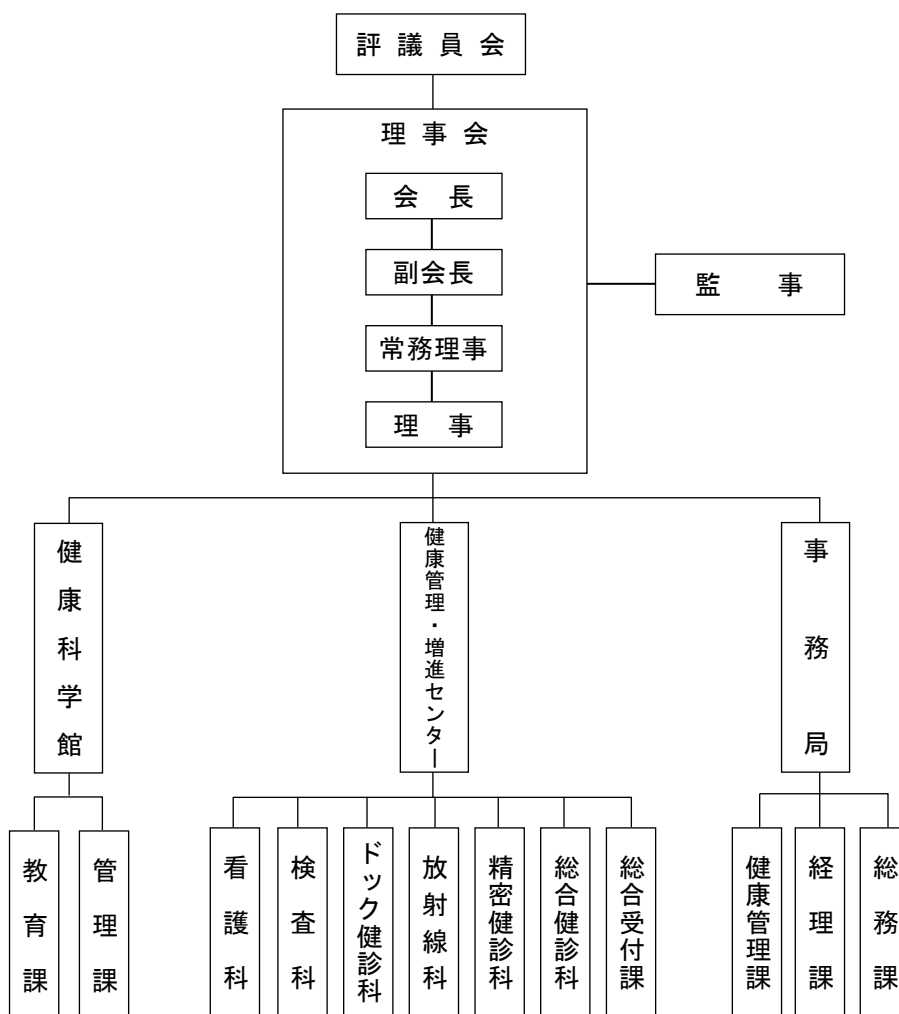
-
- 平成 15 年 4 月 市民の C 型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)に B 型肝炎ウイルス検査を追加(広島市委託事業)
- 6 月 第 44 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7 月 内視鏡検査システムを更新整備
- 平成 16 年 1 月 乳房 X 線撮影装置を更新整備
- CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを更新整備
- 4 月 第二次 CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを整備
- 8 月 全自動血球計算装置搭載健診車を更新整備
- 平成 17 年 6 月 第 46 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8 月 総合健診電算システムを更新整備
- 12 月 乳房 X 線撮影装置を整備
- 12 月 医用画像情報システムサーバーソフトウェアを拡張整備
- 平成 18 年 3 月 職業補導事業を廃止
- 4 月 マンモグラフィによる被爆者乳がん検診を開始
- 老人保健法基本健康診査に生活機能評価を追加して実施
- 9 月 デジタル X 線透視撮影装置更新整備
- 10 月 被爆者健診に対する基本健康診査(生活機能評価)の実施
- 12 月 全自動血球計算装置搭載健診車更新整備(1 号車)
- 平成 19 年 1 月 X 線骨密度測定装置更新整備
- 6 月 第 48 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7 月 X 線 CT 撮影装置整備
- 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」外壁・厨房等の施設改善工事完成
- 平成 20 年 5 月 特定健康診査・特定保健指導を開始(広島市委託事業)
- 8 月 超音波診断装置更新整備
- 11 月 MRI 装置のアップグレード整備
- 平成 21 年 2 月 医用画像情報システム更新整備
- 3 月 デジタル胃集検 X 線透視撮影装置更新整備
- 4 月 日曜健診(第 1・第 3 日曜日)を午前のみの実施とし、第 3 日曜日に胃がん・肺がん検診を開始
- 6 月 第 50 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 10 月 女性特有のがん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
- 平成 22 年 1 月 医用画像情報システムビューワー更新整備
- 4 月 社会保険加入者の被扶養者の集団特定健康診査を開始
- 9 月 超音波画像診断装置更新整備
- 全自動電気泳動装置更新整備
- 平成 23 年 3 月 FPD デジタル X 線透視撮影装置更新整備
- 4 月 日曜健診(第 3 日曜日)で乳がん・子宮がん検診を開始
- 6 月 第 52 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 9 月 広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念式典を開催
- 11 月 働く世代への大腸がん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
- 12 月 広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念パネル展を開催
-

平成 24 年 3 月	広島市健康づくりセンター 1 階（乳がん・子宮がん検診エリア等）改修工事完成
3 月	超音波画像診断装置更新整備
4 月	広島県知事の認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行
4 月	土曜健診を第 2・第 4・第 5 土曜日の実施に変更し、全ての土日健診（第 2・第 4・第 5 土曜日及び第 1・第 3 日曜日）で胃がん・肺がん検診を開始
平成 25 年 3 月	電子内視鏡ビデオ情報システム更新整備 CR 画像制御装置更新整備
4 月	被爆者一般健診会場において肺がん検診の同時実施を開始 人間ドック等健診業務を開始（広島市医師会臨床検査センターから移管）
6 月	第 54 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10 月	電子内視鏡システム更新整備
12 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を廃止
平成 26 年 2 月	医用画像情報システム更新整備
5 月	広島市健康づくりセンター 1 階（総合受付・一般健診エリア）改修工事
9 月	生理検査波形システム更新整備
12 月	内視鏡情報管理システム更新整備
平成 27 年 2 月	総合健診システム稼働
3 月	健康増進事業終了
5 月	上部消化管汎用ビデオスコープ増設
6 月	第 56 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	乳房用 X 線撮影装置更新整備
平成 28 年 2 月	働く世代への大腸がん検診（無料クーポン券）の終了（広島市委託事業）
7 月	内視鏡による被爆者胃がん検診を開始
8 月	自動血球計算装置更新整備
9 月	健診業務 LAN と情報処理系 LAN を分離したシステム構築
平成 29 年 4 月	内視鏡による市民胃がん検診を開始
6 月	第 58 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	上部消化管汎用ビデオスコープ増設
平成 30 年 4 月	集団健診会場において市民の骨粗鬆症検診を開始（広島市委託事業）
8 月	CT 撮影装置更新整備
10 月	超音波画像診断装置更新整備
平成 31 年 4 月	MRI 装置更新整備 特定健康診査及び市民の集団大腸がん検診を安芸区で開始
令和元年 6 月	第 60 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
令和 2 年 4 月	土曜健診を第 2・第 4 土曜日に実施（第 5 土曜日は中止）
9 月	超音波画像診断装置更新整備
令和 3 年 1 月	医用画像情報システム等更新整備
4 月	夜間の集団検診（健康診査、肺がん・大腸がん・乳がん検診）を開始（広島市委託事業） 協会けんぽ被扶養者を対象とする集団検診（特定健康診査、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診）を開始
6 月	第 61 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10 月	将来構想検討委員会の設置

令和4年	3月	総合健診システム更新整備
	8月	X線骨密度測定装置更新整備
	9月	超音波画像診断装置更新整備
	12月	将来構想検討委員会より答申書の提出
令和5年	3月	上部消化管汎用スコープ更新整備
		公益財団法人広島原爆障害対策協議会創立70周年記念講演会を開催
	6月	第63回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	12月	情報セキュリティシステム更新整備
令和6年	3月	マンモグラフィCAD整備

II 組 織

1 組 織 図



2 役 員・評 議 員

公益財団法人広島原爆障害対策協議会 役員名簿

(令和6年6月27日現在)

役 職	氏 名	職 名
会 長	松 村 誠	広島県医師会長
副 会 長	長 崎 孝 太 郎	医療法人厚生堂長崎病院理事長
副 会 長	山 本 匡	広島市医師会長
常務理事	沢 近 紀 夫	沢近医院長
常務理事	横 山 行 男	医療法人横山内科医院長
常務理事	長 敏 伸	広島原爆障害対策協議会事務局長
理 事	服 部 登	広島大学大学院医系科学研究科分子内科学教授
理 事	南 部 克 徳	広島市健康福祉局原爆被害対策部長
理 事	上 田 久 仁 子	広島市健康福祉局保健部長
理 事	関 野 弘 美	広島県健康福祉局被爆者支援課長
監 事	望 戸 洋	一般財団法人広島市都市整備公社監事
監 事	福 原 千 史	福原リハビリテーション整形外科・内科医院長

氏名	職名
安達伸生	広島大学病院長
板本敏行	県立広島病院長
岩崎学	広島市健康福祉局保健医療担当局長
瓜生賢	広島市歯科医師会長
大久保雅通	内科・糖尿病 久安医院長（広島市内科医会）
北原加奈子	広島県健康福祉局長
國重俊彦	広島原爆被爆者援護事業団理事長
坂井浩明	日本赤十字社広島県支部事務局長
佐藤修治	広島市医師会副会長
豊見雅文	広島県薬剤師会長
東幸仁	広島大学原爆放射線医科学研究所長
秀道広	広島市民病院長
古川善也	広島赤十字・原爆病院長
母谷龍典	広島市議会議長

(50音順)

3 職員

(令和6年7月1日現在、単位：人)

事務局		健康管理・増進センター		健康科学館	
職種	人員	職種	人員	職種	人員
事務局長	1	所長	1	館長	1
事務職員	7(2)[4]	副所長	0	事務職員	3<6>
検査技師	1(1)	部長	1	栄養士嘱託	<1>
自動車運転手	2[2]	常勤医師	4		
		非常勤医師	23		
		読影委員	34		
		看護師	9(4)<1>		
		検査技師	19(9)[1]		
		放射線技師	7[2]		
		栄養士	2		
		薬剤師	1		
		事務職員	9(2)<1>[7]		
小計	11(3)[6]	小計	110(15)<2>[10]	小計	4<7>
				合計	125(18)<9>[16]

注1：（ ）は本会再雇用職員で別掲

注2：< >は嘱託職員で別掲

注3：[]は無期転換職員で別掲

Ⅲ 施 設

広島市総合健康センターは、原爆被爆者を含めたすべての市民の健康をまもる拠点施設として、広島市と広島市医師会と本協議会の三者協力のもとに建設されたものであり、本協議会は、平成元年9月、この広島市総合健康センターの開館に伴い、国泰寺町の原爆被爆者福祉センターから移転した。

この敷地及び建物は広島市と広島市医師会がそれぞれ区分所有する合築施設であり、広島市が設置する施設は、「広島市健康づくりセンター」と称せられている。

本協議会は広島市が設置した「広島市健康づくりセンター」の管理運営を広島市から指定管理者の指定を受け、その業務を行っている。

- 1 所在地 広島市中区千田町三丁目8番6号
2 敷地 9,622.67 m² (広島市 5,122.67 m²、広島市医師会 4,500.00 m²)
3 建物 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上6階建 延べ15,916.26 m²

利用区分	面積
健康管理・増進センター専用	3,440.79 m ²
事務局専用	1,000.42
健康科学館専用	2,442.13
広島市・原対協事業共用部分	2,741.20
広島市医師会専用	3,199.19
広島市・広島市医師会共用部分	3,092.53
合計	15,916.26

- 4 事業費 約90億円 (広島市約65億円、広島市医師会約25億円)

IV 令和6年度事業計画

本協議会は、長年にわたり被爆者や市民の健康管理及び健康の維持増進に取り組んできており、被爆者健診では広島市全体の実施件数の約3分の2(令和4年度64.1%)を本協議会が担っている。

しかし、被爆者の減少・高齢化、市民の健診ニーズの多様化、他の医療機関の健診機能の充実が進んでいる。

こうした環境の中、令和6年度も引き続き、1)「被爆者の健康診断・健康管理事業」、「被爆者の健康管理に関する調査研究事業」及び「被爆者の援護福祉事業」、2)「市民の健康診断・健康管理事業」、3)「検査・診療事業」、4)「人間ドック健診事業」、5)広島市の指定管理者として本協議会が入居している「広島市健康づくりセンターの管理運営」及び「健康教育事業・子育て支援事業」等を行う。

事業の実施にあたり、受診者・利用者へのサービスと受診リポート率の向上に努めるとともに、健診・検査事業の精度管理の向上や検査機器等の更新整備、職員の資質向上を図るため、各種研修に職員を積極的に参加させることにも取り組む。

また、持続的な組織運営のため事業規模に見合った人員配置を図る。

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

(1) 健康診断の実施

① 被爆者健康診断の実施

ア 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、祝日を除く第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日(※)にも各種検診を実施する。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮がん検診は第3日曜日のみ実施。)

(※) 4月は第3日曜日のみ実施、8月は実施しない。

イ 広島市健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での出張健診を以下のとおり実施する。

また、被爆者の高齢化等を考慮し、地域の特性に応じて出張健診会場までの送迎を行う。

一般検査	322回	胃がん検診	129回
婦人科検診	83回		

② 被爆二世健診の実施

広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

③ 出張健診の日程等は、広島市の広報紙及び本協議会のホームページで周知を図る。

また、被爆者定期健康診断未受診者に対して受診勧奨通知を発送して受診促進を図る。

【実施目標】

一般検査	8,600件	精密検査	8,600件
胃がん検診(X線)	350件	胃がん検診(内視鏡)	450件
肺がん検診	5,000件	乳がん検診	900件
子宮がん検診	600件	大腸がん検診	3,300件
多発性骨髄腫検診	6,000件	骨粗鬆症検診	2,100件
被爆二世健康診断	2,810件		

(2) 健康管理の推進

① 各種検診データを基に、広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、公益財団法人放射線影響研究所等の協力のもと、悪性新生物の早期発見に努める。

- ② 糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症について、健診結果に基づき、必要に応じて保健指導、栄養指導を行う。
- (3) 健康診断医療機器等の整備
検査機器の老朽化に対応するため、内視鏡システム等の更新を行う。
- (4) 被爆者健康管理資料の作成等
受診者の健診資料（健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等）を集計して統計資料を作成する。
また、本協議会が長年集積してきた膨大な健診結果等について、関係機関と協議のもと、取り扱いを検討する。

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業1）

- (1) 調査研究の継続実施
被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査等、令和5年度以前に実施したものを引き続き研究する。研究成果は原子爆弾後障害研究会、関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表する。
- (2) 文献の収集
原子爆弾後障害に関する医学論文等を整理保管する。
- (3) 第64回原子爆弾後障害研究会の開催
令和6年度は長崎市において、「第64回原子爆弾後障害研究会」が開催されるので、広島市側の窓口として研究会開催を支援する。

3 被爆者の援護福祉事業（公益事業2）

- (1) 被爆者相談の実施
被爆者の相談に応じ、関係行政機関と連携して、各種援護措置の説明等を行う。
- (2) 援護措置の実施
「原爆被爆者援護規程」に基づいて本協議会独自で次の援護措置を行う。
 - ① 生活困窮者に対する援護金支給
 - ② 被爆身体障害者等に対する見舞金支給
 - ③ 福祉用具貸与・購入費利用料補助
 - ④ その他必要と認める経費の一部補助

4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

- (1) 高齢者医療確保法に基づく特定健康診査等の実施
 - ① 特定健康診査等の実施
 - ア 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、祝日を除く第2・第4土曜日及び第1・

第3日曜日(※)にも実施する。

(※) 4月は第3日曜日のみ実施、8月は実施しない。

イ 健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での集団健診を268回実施する。

② 特定保健指導の実施

特定健康診査等の健診結果に基づき、生活習慣病のリスクが高く、特定保健指導を受ける必要があると判定された者については、結果説明に続いて特定保健指導の受診を勧奨する。

【実施目標】

特定健康診査等(※)	14,150 件
後期高齢者健康診査	6,400 件
特定保健指導	530 件

(※) 医療保険未加入者分及び被用者保険加入被扶養者分を含む。

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

① がん検診等の実施

ア 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、祝日を除く第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日(※)にも各種検診を実施する。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮頸がん検診は第3日曜日のみ実施。)

(※) 4月は第3日曜日のみ実施、8月は実施しない。

イ 健康づくりセンターでの施設検診のほか、公民館・集会所等での集団検診を以下のとおり実施する。

肺がん検診(単独)	72 回	胃がん検診	228 回
婦人科検診	174 回	(うち5回は乳がん検診のみ)	

ウ 上記イのうち、受診機会の拡大のため、5大がん検診(※1)と特定健康診査等の同時実施を88回、休日の集団検診を21回(※2)、夜間の集団検診(※3)を5回実施する。

(※1) 胃がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診

(※2) うち15会場は5大がん検診と特定健康診査等の同時実施

(※3) 肺がん・大腸がん・乳がん検診及び特定健康診査等

② 集団検診の日程等は、広島市及び本協議会のホームページで周知を図る。

また、がん検診未受診者に対して受診勧奨通知を発送して受診促進を図る。

【実施目標】

胃がん検診(X線)	7,900 件	胃がん検診(内視鏡)	3,000 件
肺がん検診	20,110 件	乳がん検診	7,200 件
子宮頸がん検診	5,800 件	大腸がん検診	17,300 件
骨粗鬆症検診	4,100 件	肝炎ウイルス検査	3,100 件
風しん抗体検査	70 件		

(3) 感染症法に基づく結核健康診断の実施

【実施目標】

結核健康診断 13,300 件

(65才以上の肺がん検診との同時検査：13,280件を含む。)

(4) 健康管理資料の保管

受診者の健診資料(心電図所見・がん症例報告等)を整理・保管する。

5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）

令和4年4月からの5年間、広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの管理運営、健康科学館での健康教育事業及び子育て支援事業を行う。

（1）健康教育事業

健康に関する最新情報を分かりやすく正確に提供するとともに、教育研修等を積極的に行い、日常における健康管理について正しい知識の普及を図る。

【年間入館者数目標】 52,800人

- ① 健康科学展示施設の運営
 - ・ 企画展開催 年4回
 - ・ パネル展 年12回
- ② 健康ライブラリーの運営
 - ・ 図書及びビデオを利用した学習の場の提供
- ③ 健康に関する研修等の実施
 - ・ 主催による研修会・イベント 年46回
- ④ ボランティア（ヘルスサポーター）の養成・育成
 - ・ ボランティア養成講座（6課程） 年1回
 - ・ ボランティア育成講座 年2回
 - ・ ボランティアの活動 年430回
- ⑤ 健康に関する情報の収集・提供
 - ・ 広報誌「健康科学館ニュース」の発行（年7回）
 - ・ インターネットによる健康情報の提供を行う。

（2）子育て支援事業

- ① ファミリー・サポート・センター事業
 - ・ 会員同士の子育てに関する相互援助活動により、仕事と子育ての両立支援や地域における子育て支援機能の充実を図る。
 - ・ 提供会員と依頼会員とのマッチングの実施
 - ・ 提供会員希望者への講習会の実施 年1回
- ② つどいの広場事業
 - ・ 子育て家庭の保護者と子どもが気軽につどい、あそびと育児相談などを行う常設の場を提供し、子育ての負担感の軽減や地域の子育て支援の充実を図る。

【年間利用者数目標】 20,600人

 - ・ 子育てに関する講習会の実施 年20回
- ③ パパとママの育児教室の開催
 - ・ 夫婦が協力して子育てを行うため、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図る。
 - ・ 開催回数 年34回

6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）

（1）検査診療等の事業

本協議会の健診等において、悪性疾患等が疑われた者に確定診断等のための詳細な検査（C

T・MRI・内視鏡・超音波検査等)を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等と連携して最善の方策を進める。

また、広島市医師会員からの依頼に基づき生体検査（CT・MRI・超音波検査等）を行う。

(2) 人間ドック健診等の事業

事業所・健康保険組合等からの委託を受け、人間ドック健診や事業所健診等を行うほか、全国健康保険協会管掌健康保険加入事業所を対象に生活習慣病予防健診を実施する。

また、メンタル面での健診メニューとしてストレスチェックを実施する。

【実施目標】

人間ドック健診	1,802 件
生活習慣病予防健診	3,240 件
事業所健診	3,543 件
ストレスチェック	800 件

(3) その他の健診等の事業

- ① 軽度認知症等の早期発見に係る検査を実施する。

【実施目標】

もの忘れチェックテスト（早期認知機能低下の早期発見）	70 件
ロコモチェック（運動機能低下の早期発見）	20 件

- ② 各種予防接種の実施

広島市健康づくりセンターにおいて各種予防接種（インフルエンザワクチン等）を行う。

- ③ 各種オプション検査の実施

市民の健診・検査に対して、本協議会独自のオプション検査を実施する。

- ④ 他の医療機関からの依頼に基づき、胃内視鏡検査の二重読影を行う。

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

「放射線被曝者医療国際協力推進協議会（H I C A R E）」の主要推進団体として、被曝者医療を学ぶために来日した外国の研修生の受入れ等の事業実施に協力する。

(2) 来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

来日した被曝者の健康診断及び医療相談、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談など、在外被曝者への支援を行う。

V 令和6年度予算

収 支 予 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合 計
	公益1 健康診断・ 調査研究事業	公益2 援護福祉事業	公益3 健康教育・ 子育て支援事業	共 通	小 計	人間ドック 健診等事業		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	1	0	0	0	1	0	0	1
特定資産運用益	579	0	0	0	579	144	1,203	1,926
事業収益	818,826	0	105,307	0	924,133	364,274	0	1,288,407
受取寄付金	0	550	0	0	550	0	0	550
雑収益	0	0	0	0	0	492	0	492
経常収益計	819,406	550	105,307	0	925,263	364,910	1,203	1,291,376
(2) 経常費用								
事業費	890,212	7,776	114,738	0	1,012,726	385,467		1,398,193
管理費							6,048	6,048
経常費用計	890,212	7,776	114,738	0	1,012,726	385,467	6,048	1,404,241
当期経常増減額	△ 70,806	△ 7,226	△ 9,431	0	△ 87,463	△ 20,557	△ 4,845	△ 112,865
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	32	0	0	0	32	8	0	40
経常外費用計	32	0	0	0	32	8	0	40
当期経常外増減額	△ 32	0	0	0	△ 32	△ 8	0	△ 40
他会計振替前 当期一般正味財産増減額	△ 70,838	△ 7,226	△ 9,431	0	△ 87,495	△ 20,565	△ 4,845	△ 112,905
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前 当期一般正味財産増減額	△ 70,838	△ 7,226	△ 9,431	0	△ 87,495	△ 20,565	△ 4,845	△ 112,905
法人税、住民税及び事業税					0	0	71	71
当期一般正味財産増減額	△ 70,838	△ 7,226	△ 9,431	0	△ 87,495	△ 20,565	△ 4,916	△ 112,976
一般正味財産期首残高	662,597	△ 40,601	△ 53,334	837	569,499	215,414	△ 97,513	687,400
一般正味財産期末残高	591,759	△ 47,827	△ 62,765	837	482,004	194,849	△ 102,429	574,424
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	200	200	0	0	200
指定正味財産期末残高	0	0	0	200	200	0	0	200
III 正味財産期末残高	591,759	△ 47,827	△ 62,765	1,037	482,204	194,849	△ 102,429	574,624

VI 令和5年度事業実績

1 健康診断事業

(1) 被爆者健康診断

原爆被爆者の健康管理のため、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく原爆被爆者の健康診断を行っている。検査項目は下表のとおりである。

健診種別及び検査項目（令和5年度）

種 別		検 査 項 目
一般検査		問診等・CRP検査・血液一般検査・尿検査・血圧測定 ※医師が必要と認める場合、肝機能検査、ヘモグロビンA1c検査
精密検査		血液生化学検査・心電図検査・各種画像検査・運動器の検査等
がん検診	胃がん検診	問診・胃部X線撮影 又は 胃内視鏡検査
	肺がん検診	問診・胸部X線撮影、喀痰細胞診検査
	乳がん検診	問診、マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診	問診・視診、内診、細胞診（頸部）
	多発性骨髄腫検診	問診・血液検査（血清蛋白分画検査）
	大腸がん検診	問診・便潜血二日法
骨粗鬆症検診		問診・骨塩定量検査（DEXA法）

一般検査は、毎年、前期・後期の2回行う定期健康診断のほかに、年2回を限度として申請による健康診断が受診できる。一般検査の結果、必要があると認められた場合に、精密検査を実施する。また、申請による健康診断のうち1回をがん検診として受診できる。

ア 被爆者一般・精密検査の実施

被爆者一般検査・精密検査は、広島市健康づくりセンターでの施設健診のほか、市内の公民館、集会所での出張健診を実施している。

広島市健康づくりセンターでは、毎月第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも健診を実施（4月及び8月の土曜日及び日曜日は4月の第3日曜日を除き実施しない。）しており、出張健診は年間15回の日曜健診を実施している。被爆者一般・精密検査の年度別実施状況は表1のとおりである。

表1 一般・精密検査の年度別実施状況

(単位:人,%)

年 度 * 手帳更新	一般検査		精密検査 受診件数(B)	精検受診率 (B)/(A)(%)	一般及び精密検査 延べ受診件数
	受診件数(A)	要精検者数			
昭和 36	20,949	—	3,818	18.2	24,767
37	57,090	—	10,730	18.8	67,820
* 38	60,005	—	10,818	18.0	70,823
39	70,672	—	14,691	20.8	85,363
40	70,634	—	14,135	20.0	84,769
* 41	75,751	—	13,648	18.0	89,399
42	78,372	23,087	15,453	19.7	93,825
43	84,459	26,056	14,595	17.3	99,054
* 44	94,427	27,894	15,352	16.3	109,779
45	89,890	36,988	26,761	29.8	116,651
46	93,001	40,868	31,771	34.2	124,772
* 47	111,119	51,433	42,300	38.1	153,419
48	101,612	48,393	38,024	37.4	139,636
49	112,068	50,713	42,871	38.3	154,939
* 50	113,852	52,996	45,437	39.9	159,289
51	109,040	51,559	44,652	41.0	153,692
52	107,000	53,453	49,959	46.7	156,959
* 53	109,531	54,948	50,785	46.4	160,316
54	104,928	61,201	58,273	55.5	163,201
55	100,788	56,415	53,404	53.0	154,192
* 56	100,289	57,168	54,360	54.2	154,649
57	94,857	57,692	55,137	58.1	149,994
58	91,003	60,524	58,999	64.8	150,002
* 59	90,495	65,715	64,863	71.7	155,358
60	91,336	68,221	67,177	73.5	158,513
61	87,533	67,361	66,511	76.0	154,044
* 62	87,372	67,439	66,659	76.3	154,031
63	82,107	63,024	62,883	76.6	144,990
平成元	76,987	59,818	60,461	78.5	137,448
* 2	73,429	58,652	59,539	81.1	132,968
3	68,285	55,675	57,705	84.5	125,990
4	63,771	53,925	55,561	87.1	119,332
* 5	60,666	56,596	58,567	96.5	119,233
6	55,979	54,270	56,860*	101.6*	112,839
7	54,275	53,702	56,145*	103.4*	110,420
* 8	52,715	52,541	54,967*	104.3*	107,142
9	49,876	49,797	51,917*	104.1*	101,793
10	47,229	47,210	49,467*	104.7*	96,696
* 11	45,168	45,156	47,154*	104.4*	92,322
12	43,121	43,114	45,019*	104.4*	88,140
13	40,614	40,607	42,191*	103.9*	82,805
14	39,269	39,268	41,440*	105.6*	80,709
15	38,432	38,432	40,607*	105.7*	79,039
16	35,588	35,584	37,198*	104.5*	72,786
17	33,997	33,995	35,996*	105.9*	69,993
18	33,086	33,084	34,603*	104.6*	67,689
19	30,639	30,637	32,659*	106.6*	63,298
20	29,043	29,040	30,319*	104.4*	59,363
21	27,417	27,412	28,924*	105.5*	56,341
22	25,619	25,616	27,428*	107.1*	53,047
23	23,952	23,947	25,508*	106.5*	49,460
24	22,339	22,339	23,510*	105.2*	45,849
25	21,056	21,056	22,176*	105.3*	43,232
26	18,760	18,758	19,544*	104.2*	38,304
27	17,698	17,695	18,759*	106.0*	36,457
28	16,020	16,020	16,546*	103.3*	32,566
29	15,209	15,209	15,418*	101.4*	30,627
30	14,599	14,599	14,628*	100.2*	29,227
令和元	13,011	13,011	13,032*	100.2*	26,043
◎ 2	10,140	10,140	10,155*	100.1*	20,295
◎ 3	8,663	8,663	8,662	99.9	17,325
4	9,460	9,460	9,459	99.9	18,919
5	9,330	9,330	9,327	99.9	18,657

※ 精密検査受診者数が一般検査受診者数より多いのは、一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみ本協議会で実施した人数を含んでいるためである。

◎ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、受診者数が減少している。

イ 令和5年度被爆者一般・精密検査実施状況

令和5年度の一般検査の受診者数は9,330人、精密検査の受診者は9,327人であった。詳細は以下のとおりである。

(7) 一般検査

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間の当施設及び延332回の出張健診会場での一般検査受診者延数は表2 a・bに示すとおり、男性4,330人、女性5,000人、計9,330人で、前年度との比較では130人の減少（男性17人増加、女性147人減少）である。年齢構成は、男性、女性ともに80歳代がピークとなっている。平均年齢±標準偏差は男性82.4±4.2歳、女性82.6±4.7歳、全体では82.6±4.5歳である。健診会場別に受診者をみると、施設は3,228人(34.6%)、出張健診会場は6,102人(65.4%)であり、前年度に比し、施設健診は152人の減少、出張健診は22人の増加である。

出張健診の区別の受診状況は表2 cに示すとおり、受診率は安芸区が14.1%と最も高く、次いで安佐北区11.4%、佐伯区11.0%であり、全体では8.8%である。

表2 被爆者 一般検査

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		(%)		(%)		(%)
76～79	1,283	29.6	1,440	28.8	2,723	29.2
80～89	2,693	62.2	3,012	60.2	5,705	61.1
90～	354	8.2	548	11.0	902	9.7
計	4,330	100.0	5,000	100.0	9,330	100.0

b 健診会場別実施状況

(単位：日，人)

区分	令和5年度(A)		令和4年度(B)		比較増減(A)-(B)	
	日数	受診者数	日数	受診者数	日数	受診者数
施設健診	282	3,228	281	3,380	1	△ 152
出張健診	332	6,102	332	6,080	0	22
計	614	9,330	613	9,460	1	△ 130

c 出張健診区別実施状況

(単位：日，人，%)

区分	令和5年度(A)				令和4年度(B)				比較増減(A)-(B)		
	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数*	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数
中区	22	5,810	355	6.1	22	6,252	383	6.1	0	△ 442	△ 28
東区	42	7,050	556	7.9	45	7,439	595	8.0	△ 3	△ 389	△ 39
南区	40	9,077	603	6.6	39	9,654	620	6.4	1	△ 577	△ 17
西区	53	12,241	735	6.0	51	12,442	749	6.0	2	△ 201	△ 14
安佐南区	52	13,538	1,338	9.9	55	13,274	1,243	9.4	△ 3	264	95
安佐北区	53	9,783	1,113	11.4	51	9,383	1,033	11.0	2	400	80
安芸区	23	3,123	441	14.1	21	3,241	557	17.2	2	△ 118	△ 116
佐伯区	47	8,710	961	11.0	48	8,292	900	10.9	△ 1	418	61
計	332	69,332	6,102	8.8	332	69,977	6,080	8.7	0	△ 645	22

(対象者数は、年間の延べ被爆者健診通知数)

d 要精検率

(単位：人)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
		(%)	(%)		(%)	(%)			
76～79	1,283	1,283	100.00	1,440	1,440	100.00	2,723	2,723	100.00
80～89	2,693	2,693	100.00	3,012	3,012	100.00	5,705	5,705	100.00
90～	354	354	100.00	548	548	100.00	902	902	100.00
計	4,330	4,330	100.00	5,000	5,000	100.00	9,330	9,330	100.00

(イ) 精密検査

令和5年度の精密検査受診者延数は表3 aに示すとおり、男性4,328人、女性4,999人、計9,327人であり、前年度に比し男性は16人の増加、女性は148人の減少、全体では132人減少している。

精密検査受診者に対して実施した主な検査項目は表3 cに示すとおり、白血球分類が最も多く、次に、肝機能検査、血糖検査、心電図、TSH(CLEIA)、Free T4、CAVIの順である。

健診(検診)や精密検査の結果、何らかの疾病を有し、これに対して治療の必要な者を要治療者とし、経過観察、追加検査及び食生活指導の必要な者を要経過観察者として、これらの精密検査受診者に対する比率をみたのが表3 d・eである。要治療者については、男性では高血圧、脂質異常症、糖尿病の順に多くみられ、女性では高血圧、脂質異常症、骨粗鬆症の順である。要経過観察者についてみると、男性では高血糖、動脈硬化症、脂質異常症の順に多くみられ、女性では、脂質異常症、高血糖、動脈硬化症の順である。

表3 被爆者 精密検査

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		(%)		(%)		(%)
76～79	1,282	29.6	1,440	28.8	2,722	29.2
80～89	2,693	62.2	3,011	60.2	5,704	61.2
90～	353	8.2	548	11.0	901	9.7
計	4,328	100.0	4,999	100.0	9,327	100.0

b 要精検者に対する精密検査受診率

(単位：人、%)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数	
		受診率	受診率		受診率	受診率			
76～79	1,283	1,282	99.9	1,440	1,440	100.0	2,723	2,722	99.9
80～89	2,693	2,693	100.0	3,012	3,011	99.9	5,705	5,704	99.9
90～	354	353	99.7	548	548	100.0	902	901	99.9
計	4,330	4,328	99.9	5,000	4,999	99.9	9,330	9,327	99.9

○ 精密検査における主な検査項目と実施件数

(単位：件)

検査項目	実施件数	検査項目	実施件数
白血球分類	9,328	甲状腺超音波検査	134
肝機能検査	9,327	M R I	131
血糖検査	9,326	眼底検査	69
心電図	7,250	心臓超音波検査	61
T S H (C L E I A)	3,662	胃内視鏡検査	27
F r e e T 4	3,645	F r e e T 3	23
C A V I	2,291	大腸内視鏡検査	18
頸動脈超音波検査	1,442	尿沈査	1
C T	325	スパイロメトリー検査※	0
抗 T P O 抗体	318	ブドウ糖負荷試験	0
腹部超音波検査	184	免疫グロブリン	0

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点より、令和2年4月16日より検査を中止している。

d 要治療者の疾病分類

(単位：件)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
		例数	(%)	例数	(%)	例数	(%)
感染症	その他	2	0.05	3	0.06	5	0.05
悪性新生物 (治療中・経過観察を含む)	胃 癌	97	15.13	32	5.04	129	9.72
	肺 癌	60		22		82	
	多発性骨髄腫	28		23		51	
	結腸・直腸癌	56		20		76	
	乳 癌	0		53		53	
	前立腺癌	264		0		264	
	膀胱癌	30		9		39	
	甲状腺癌	30		65		95	
	食道癌	20		5		25	
	その他	70		23		93	
良性新生物	その他	0	0.00	0	0.00	0	0.00
内分泌・代謝疾	糖尿病	1,016	74.61	714	72.17	1,730	73.30
	甲状腺腫	0		1		1	
	甲状腺機能低下症	194		504		698	
	甲状腺機能亢進症	6		32		38	
	脂質異常症	1,417		2,256		3,673	
	高尿酸血症	594		100		694	
	その他	2		1		3	
血液疾患	貧血	109	2.59	174	3.56	283	3.11
	その他	3		4		7	
精神障害・神経感覚器疾患	パーキンソン	26	0.60	37	0.76	63	0.69
	その他	0		1		1	
循環器疾患	高血圧	2,545	91.06	2,761	76.26	5,306	83.12
	高血圧性心疾患	0		0		0	
	虚血性心疾患	483		311		794	
	その他の心疾患	454		403		857	
	脳血管障害	410		306		716	
	動脈硬化症	40		22		62	
	その他の循環器疾患	9		9		18	
呼吸器疾患	肺炎	0	4.30	1	4.22	1	4.26
	慢性気管支炎	0		2		2	
	喘息	74		183		257	
	肺気腫	69		9		78	
	肺線維症	13		6		19	
	その他	30		10		40	
消化器疾患	胃潰瘍	6	6.10	2	7.08	8	6.63
	十二指腸潰瘍	1		2		3	
	肝機能障害	88		93		181	
	その他	169		257		426	
泌尿・生殖器疾患	腎炎	0	19.11	3	0.58	3	9.18
	腎不全	72		22		94	
	前立腺肥大症	750		0		750	
	尿路感染症	0		0		0	
	その他	5		4		9	
皮膚・筋骨格系疾患	リウマチ様関節炎	69	5.36	124	34.71	193	21.09
	骨粗鬆症	162		1,606		1,768	
	その他	1		5		6	
その他	その他	2	0.05	0	0.00	2	0.02
総被検者数		4,328		4,999		9,327	

e 要経過観察者の疾病分類

(単位：件)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
		例数	(%)	例数	(%)	例数	(%)
感染症	陳旧性肺結核	0	0.00	0	0.06	0	0.03
	その他	0		3		3	
新生物	多発性骨髄腫	0	0.23	0	0.30	0	0.27
	その他の悪性新生物	2		2		4	
	その他の良性新生物	8		13		21	
内分泌・代謝疾患	高血糖	1,056	43.69	851	39.37	1,907	41.37
	甲状腺腫	11		56		67	
	その他の内分泌疾患	0		0		0	
	脂質異常症	701		1,008		1,709	
	その他の代謝疾患	123		53		176	
血液疾患	貧血	109	2.52	216	4.32	325	3.48
	その他	0		0		0	
精神障害・神経感覚器疾患	精神障害	0	0.00	1	0.02	1	0.01
	神経感覚器疾患	0		0		0	
循環器疾患	高血圧	116	19.66	168	16.38	284	17.91
	高血圧性心疾患	0		0		0	
	虚血性心疾患	0		0		0	
	その他の心疾患	2		2		4	
	脳血管障害	8		5		13	
	動脈硬化症	720		641		1,361	
	その他の循環器疾患	5		3		8	
呼吸器疾患	喘息	0	0.32	0	0.04	0	0.17
	肺気腫	7		0		7	
	肺線維症	5		0		5	
	その他	2		2		4	
消化器疾患	胃炎	13	12.25	11	5.56	24	8.66
	胃ポリープ	0		0		0	
	肝機能障害	491		245		736	
	その他	26		22		48	
泌尿・生殖器疾患	腎炎	392	30.55	88	26.85	480	28.56
	血尿	194		575		769	
	蛋白尿	339		249		588	
	尿糖	100		46		146	
	その他	297		384		681	
皮膚・筋骨格系疾患	皮膚疾患	0	0.02	0	0.10	0	0.06
	リウマチ様関節炎	0		0		0	
	骨粗鬆症	0		3		3	
	その他の骨関節疾患	1		2		3	
	その他	1		0.02		19	
総被検者数		4,328		4,999		9,327	

ウ 被爆者がん検診等の実施

被爆者がん検診(胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫)は、被爆者の高齢化に伴う健康不安の増大等に対し、健康不安を解消するとともに健康管理の充実を図るため、昭和 63 年度から原子爆弾被爆者の医療等に関する法律（平成 7 年、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に移行）に基づく被爆者健康診断の一環として導入されたものである。これは希望による健康診断 2 回のうち 1 回をがん検診として受診できることになっている。

平成 2 年度から、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を安佐南区、安佐北区及び安芸区を除く出張健診会場で実施し、平成 4 年度から安芸区、平成 5 年度から安佐南区、安佐北区の出張健診会場においても実施している。

平成 4 年度から大腸がん検診を実施し、平成 7 年度から広島市の施策として骨粗鬆症検診を施設において実施している。

平成 18 年度から、乳がん検診に乳房 X 線検査（マンモグラフィ）が必須項目となった。

平成 28 年 7 月から、胃がん検診は胃部 X 線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。

平成 30 年度から、乳がん検診の視触診を廃止。

被爆者がん検診等の推移は表 4、被爆者がん検診等の年度別実施状況は表 5 に示すとおりである。

表 4 被爆者がん検診等の推移

検診	検診会場	施設検診	出張検診		
			中区・東区・南区 区・西区・佐伯区	安芸区	安佐南区 安佐北区
胃がん検診	昭和 63 年 8 月～		平成 2 年 4 月～	平成 4 年 4 月～	平成 5 年 4 月～
肺がん検診					
乳がん検診					
子宮がん検診					
多発性骨髄腫検診			昭和 63 年 8 月～		
大腸がん検診	平成 4 年 10 月～		平成 4 年 10 月～		
骨粗鬆症検診	平成 7 年 4 月～				

表5 被爆者がん検診等年度別実施状況

(単位：件)

年 度	胃がん検診※	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん 検 診	多発性骨髄 腫 検 診	大腸がん 検 診	骨粗鬆症 検 診				
昭和 54	2,165										
55	4,388										
56	2,843										
57	4,979										
58	5,446										
59	5,079										
60	5,142										
61	5,024										
62	4,973							201			
63	5,255							6,442	961	897	40,027
平成元	3,848							8,052	809	751	43,045
2	6,415							10,579	2,468	2,277	40,060
3	5,976	10,964	2,304	2,135	40,418	4,018					
4	6,702	12,107	2,736	2,466	41,521	19,535					
5	8,095	14,189	3,630	3,390	34,909	18,306					
6	7,754	15,999	3,343	3,130	37,600	16,812					
7	8,034	16,522	3,305	3,105	36,347	16,196	3,995				
8	7,953	16,104	3,288	3,094	30,677	16,657	3,891				
9	7,835	15,764	3,155	2,959	33,103	15,619	5,605				
10	7,574	15,148	2,783	2,649	31,304	15,029	6,055				
11	7,878	15,542	2,947	2,779	28,068	15,105	6,597				
12	7,686	15,523	3,024	2,876	28,793	14,472	7,000				
13	7,244	14,967	2,860	2,715	26,898	13,901	6,848				
14	7,161	15,596	2,843	2,724	26,131	13,669	7,211				
15	7,215	15,573	2,907	2,736	25,502	13,375	7,516				
16	6,950	14,650	2,864	2,548	23,823	12,453	7,193				
17	6,809	14,135	2,590	2,405	22,804	12,288	6,580				
18	6,416	13,720	3,073	2,499	22,401	11,570	6,480				
19	5,967	12,972	3,026	2,499	20,416	11,257	6,049				
20	5,445	12,588	2,997	2,427	19,555	10,988	5,932				
21	4,971	12,503	3,096	2,498	18,581	10,503	5,888				
22	4,514	11,708	2,686	2,260	17,352	9,639	5,623				
23	4,133	11,159	2,536	2,040	16,376	9,766	5,306				
24	3,891	10,438	2,527	2,032	15,311	9,331	5,132				
25	3,392	11,311	2,300	1,870	14,468	8,570	4,984				
26	2,881	10,278	2,098	1,696	13,120	7,577	4,530				
27	2,317	9,681	1,993	1,567	12,401	7,025	4,543				
28	2,268(445)	8,730	1,779	1,360	11,253	6,345	3,855				
29	1,980(487)	8,345	1,643	1,276	10,538	6,016	3,553				
30	1,937(622)	8,056	1,520	1,154	9,991	5,595	3,513				
令和元	1,539(561)	7,194	1,451	1,043	8,918	5,130	3,081				
◎ 2	1,069(470)	5,850	1,063	769	7,356	3,833	2,562				
◎ 3	902(471)	5,189	943	654	6,466	3,451	2,364				
4	936(480)	5,454	993	672	6,751	3,583	2,335				
5	847(489)	5,465	999	668	6,632	3,630	2,277				

※ 胃がん検診は、平成 28 年 7 月から、胃部 X 線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。

()内は胃内視鏡検査の受診者数(内数)

◎ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、受診者数が減少している。

昭和 62 年度までの胃がん検診、肺がん検診と平成 3 年度の大腸がん検診は、広島市独自の法外援護事業として委託を受けて実施したものであり、昭和 63 年度以降（大腸がん検診は平成 4 年度以降）は国の制度として、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて実施したものである。

エ 令和4年度被爆者がん検診等実施状況(令和6年5月末までの追跡調査の結果)

令和4年度の時点で被爆者対象年齢は75歳以上である。

(7) 胃がん検診

胃がん検診の胃部X線検査における受診者数は表6aに示すとおり、男性285人、女性171人、計456人である。要精検率は男性14.0%、女性9.9%、計12.5%、精検受診率はいずれも100.0%である。要精検率は女性に比し男性がやや高率である。

精検結果は表6bに示すとおりである。胃部X線検査では、有所見率は男性97.50%、女性100.0%である。主な所見の内訳は、胃潰瘍12.28%、胃ポリープ7.02%、非上皮性腫瘍5.26%、胃癌1.75%である。

胃がん検診の胃内視鏡検査における受診者数は表6aに示すとおり、男性298人、女性182人、計480人である。

精検結果は表6bに示すとおり、有所見率は男性94.97%、女性90.11%、計93.13%であり、男性が女性よりやや高率である。主な所見の内訳は、非上皮性腫瘍0.42%、胃癌0.21%、その他のがん0.21%である。

令和4年度新たに発見された胃癌症例は、表6cに示すとおりである。胃部X線検査では、胃癌症例は男性1例、女性0例、計1例である。胃癌発見率は男性0.35%、女性0.00%、計0.22%、陽性反応の中度はそれぞれ2.50%、0.00%、1.75%である。

胃内視鏡検査では、胃癌症例は男性0例、女性1例、計1例である。胃癌発見率は男性0.00%、女性0.55%、計0.21%である。

表6 被爆者 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

胃部X線検査

(単位:人)

受診者数	男 性				女 性				計					
	要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数			
		(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		
285	40	14.0	40	100.0	171	17	9.9	17	100.0	456	57	12.5	57	100.0

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

受診者数	男 性				女 性				計					
	要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数			
		(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		
298	24	8.1	24	100.0	182	18	9.9	18	100.0	480	42	8.8	42	100.0

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

胃部X線検査

(単位:人)

性	精 検 所 見														有所見例数			
	胃癌	非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常				
		(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹						
男性	1	2.50	1	2.50	0	0.00	0	0.00	2	5.00	5	12.50	30	75.00	1	2.50	39	97.50
女性	0	0.00	2	11.76	0	0.00	0	0.00	2	11.76	2	11.76	11	64.71	0	0.00	17	100.00
計	1	1.75	3	5.26	0	0.00	0	0.00	4	7.02	7	12.28	41	71.93	1	1.75	56	98.25

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	受診者数	精 検 所 見											有所見例数						
		胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常			
		(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹				
男性	298	0	0.00	2	0.67	1	0.34	0	0.00	0	0.00	0	0.00	280	93.96	15	5.03	283	94.97
女性	182	1	0.55	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	163	89.56	18	9.89	164	90.11
計	480	1	0.21	2	0.42	1	0.21	0	0.00	0	0.00	0	0.00	443	92.29	33	6.88	447	93.13

¹ 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た胃癌発見率

胃部X線検査

(単位:人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃癌症例		
			(%) ¹	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応の集中度(%) ⁴	胃がん症例		
							発見率(%) ³	陽性反応の集中度(%) ⁴	
男性	2.0km以内直接被爆群	57	7	12.3	7	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	89	12	13.5	12	100.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	139	21	15.1	21	100.0	1	0.72	4.76
	計	285	40	14.0	40	100.0	1	0.35	2.50
女性	2.0km以内直接被爆群	33	2	6.1	2	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	53	6	11.3	6	100.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	85	9	10.6	9	100.0	0	0.00	0.00
	計	171	17	9.9	17	100.0	0	0.00	0.00
計	2.0km以内直接被爆群	90	9	10.0	9	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	142	18	12.7	18	100.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	224	30	13.4	30	100.0	1	0.45	3.33
	計	456	57	12.5	57	100.0	1	0.22	1.75

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: がん症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応の集中度: がん症例数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃癌症例		
			(%) ¹	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応の集中度(%) ⁴	胃がん症例		
							発見率(%) ³	陽性反応の集中度(%) ⁴	
男性	2.0km以内直接被爆群	42	4	9.5	4	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	108	6	5.6	6	100.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	148	14	9.5	14	100.0	0	0.00	0.00
	計	298	24	8.1	24	100.0	0	0.00	0.00
女性	2.0km以内直接被爆群	35	3	8.6	3	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	59	4	6.8	4	100.0	1	1.69	25.00
	入市・他群	88	11	12.5	11	100.0	0	0.00	0.00
	計	182	18	9.9	18	100.0	1	0.55	5.56
計	2.0km以内直接被爆群	77	7	9.1	7	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	167	10	6.0	10	100.0	1	0.60	10.00
	入市・他群	236	25	10.6	25	100.0	0	0.00	0.00
	計	480	42	8.8	42	100.0	1	0.21	2.38

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: がん症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応の集中度: がん症例数/要精検者数×100

(4) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表7aに示すとおり、男性2,585人、女性2,869人、計5,454人である。要精検率は男性4.8%、女性3.8%、計4.3%、精検受診率はそれぞれ89.6%、90.8%、90.2%である。

精検結果は表7bに示すとおり、有所見率は男性91.96%、女性85.86%、計89.10%で男性が女性に比し高率である。主な所見の内訳は、肺気腫8.53%、肺線維症7.58%、肺炎6.64%、肺癌4.27%、である。

令和4年度新たに発見された肺癌症例は表7cに示すとおり、男性8例、女性1例、計9例である。肺癌発見率は男性0.31%、女性0.03%、計0.17%であり、陽性反応的中度はそれぞれ6.40%、0.92%、3.85%である。

表7 被爆者 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

受診者数	男 性				女 性				計					
	要精検者数		精検受診者数		要精検者数		精検受診者数		要精検者数		精検受診者数			
	(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²				
2,585	125	4.8	112	89.6	2,869	109	3.8	99	90.8	5,454	234	4.3	211	90.2

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	精 検 所 見																有所見例数	
	肺癌		縦隔腫瘍		非結核性抗酸菌症		肺炎		肺気腫		肺線維症		その他		正常			
	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹		
男性	8	7.14	0	0.00	0	0.00	6	5.36	17	15.18	12	10.71	60	53.57	9	8.04	103	91.96
女性	1	1.01	0	0.00	1	1.01	8	8.08	1	1.01	4	4.04	70	70.71	14	14.14	85	85.86
計	9	4.27	0	0.00	1	0.47	14	6.64	18	8.53	16	7.58	130	61.61	23	10.90	188	89.10

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

c 被爆状況別に見た肺癌発見率

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		肺癌症例		
			(%) ¹	(%) ²	発見率(%) ³		陽性反応的中度(%) ⁴		
			(%) ¹	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴			
男性	2.0km以内直接被爆群	464	20	4.3	19	95.0	1	0.22	5.00
	2.1km以上直接被爆群	877	44	5.0	40	90.9	1	0.11	2.27
	入市・他群	1,244	61	4.9	53	86.9	6	0.48	9.84
	計	2,585	125	4.8	112	89.6	8	0.31	6.40
女性	2.0km以内直接被爆群	499	19	3.8	15	78.9	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	916	41	4.5	37	90.2	1	0.11	2.44
	入市・他群	1,454	49	3.4	47	95.9	0	0.00	0.00
	計	2,869	109	3.8	99	90.8	1	0.03	0.92
計	2.0km以内直接被爆群	963	39	4.0	34	87.2	1	0.10	2.56
	2.1km以上直接被爆群	1,793	85	4.7	77	90.6	2	0.11	2.35
	入市・他群	2,698	110	4.1	100	90.9	6	0.22	5.45
	計	5,454	234	4.3	211	90.2	9	0.17	3.85

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(ウ) 乳がん検診

乳がん検診の受診者数は表8aに示すとおり、993人である。要精検率は4.0%、精検受診率は100.0%である。

精検結果は表8bに示すとおり、有所見率は60.00%である。主な所見の内訳は、その他の良性疾患47.50%、良性腫瘍10.00%、早期乳癌2.50%である。

令和4年度新たに発見された乳癌症例は表8cに示すとおり、1例である。乳癌発見率は0.10%であり、陽性反応的中度は2.50%である。

表8 被爆者 乳がん

a 受診者数, 要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹		(%) ²
993	40	4.0	40	100.0

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果 (単位:人)

精検所見															有所見例数		
悪性腫瘍									良性疾患				正常				
乳癌								その他	良性腫瘍		その他の良性疾患						
早期		進行期		病期不明													
	(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		
1	2.50	1	2.50	0	0.00	0	0.00	0	0.00	4	10.00	19	47.50	16	40.00	24	60.00

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数×100

c 被爆状況別に見た乳癌発見率 (単位:人)

被爆状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		乳癌症例		
			(%) ¹		(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴	
2.0km以内直接被爆群	191	5	2.6	5	100.0	1	0.52	20.00
2.1km以上直接被爆群	291	17	5.8	17	100.0	0	0.00	0.00
入市・他群	511	18	3.5	18	100.0	0	0.00	0.00
計	993	40	4.0	40	100.0	1	0.10	2.50

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(I) 子宮がん検診

子宮がん検診の受診者数は表9 aに示すとおり、672人である。要精検者数は0人だった。

表9 被爆者 子宮がん

a 受診者数, 要精検者数 (単位:人)

受診者数	要精検者数	
		(%) ¹
672	0	0.0

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

(オ) 多発性骨髄腫検診

多発性骨髄腫検診の受診者数は表10 aに示すとおり、男性3,059人、女性3,692人、計6,751人である。要精検率は男性5.4%、女性3.0%、計4.1%、精検受診率はそれぞれ24.8%、40.5%、31.2%である。

精検結果は表10 bに示すとおり、有所見率は男性90.24%、女性91.11%、計90.70%である。主な所見の内訳は、MGUS79.07%、骨髄腫3.49%、マクログロブリン血症2.33%である。

表10 cに示すとおり、令和4年度新たに発見された新規骨髄腫症例は男性3例、女性0例、計3例である。新規骨髄腫発見率は男性0.10%、女性0.00%、計0.04%であり、陽性反応的中度はそれぞれ1.82%、0.00%、1.09%である。

令和4年から健診システム更新に伴い専門医のフォロー体制が変更された。

表 10 被爆者 多発性骨髄腫検診

a 受診者数, 要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

男 性					女 性					計				
受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
	(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		
3,059	165	5.4	41	24.8	3,692	111	3.0	45	40.5	6,751	276	4.1	86	31.2

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	精 検 所 見												有所見例数	
	骨髄腫		MGUS		マクログロブリン血症		良性M蛋白血症		その他		M蛋白(-)			
	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(異常なし)	(%) ¹	(%) ¹		
男性	3	7.32	32	78.05	1	2.44	0	0.00	1	2.44	4	9.76	37	90.24
女性	0	0.00	36	80.00	1	2.22	0	0.00	4	8.89	4	8.89	41	91.11
計	3	3.49	68	79.07	2	2.33	0	0.00	5	5.81	8	9.30	78	90.70

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

c 被爆状況別に見た多発性骨髄腫発見率

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		新規骨髄腫症例 ¹		
			(%) ²		(%) ³		発見率(%) ⁴	陽性反応の中度(%) ⁵	
			(%) ²	(%) ²	(%) ³	(%) ³		(%) ⁵	(%) ⁵
男性	2.0km以内直接被爆群	539	30	5.6	4	13.3	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,045	50	4.8	10	20.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	1,475	85	5.8	27	31.8	3	0.20	3.53
	計	3,059	165	5.4	41	24.8	3	0.10	1.82
女性	2.0km以内直接被爆群	680	27	4.0	11	40.7	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,227	30	2.4	11	36.7	0	0.00	0.00
	入市・他群	1,785	54	3.0	23	42.6	0	0.00	0.00
	計	3,692	111	3.0	45	40.5	0	0.00	0.00
計	2.0km以内直接被爆群	1,219	57	4.7	15	26.3	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	2,272	80	3.5	21	26.3	0	0.00	0.00
	入市・他群	3,260	139	4.3	50	36.0	3	0.09	2.16
	計	6,751	276	4.1	86	31.2	3	0.04	1.09

¹ 今年度新たに発見された癌症例数

² 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

³ 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

⁴ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁵ 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数は表 11 a に示すとおり、男性 1,635 人、女性 1,948 人、計 3,583 人である。要精検率は男性 6.7%、女性 6.0%、計 6.3%、精検受診率はそれぞれ 75.2%、39.3%、56.6%である。

精検結果は表 11 b に示すとおり、有所見率は男性 81.71%、女性 82.61%、計 82.03%で女性が男性に比し高率である。主な所見の内訳は、腺腫 39.84%、非腫瘍性ポリープ 17.19%、大腸憩室 12.50%、大腸癌 4.69%である。

令和 4 年度新たに発見された大腸癌症例は表 11 c に示すとおり、男性 3 例、女性 3 例、計 6 例である。大腸癌発見率は男性 0.18%、女性 0.15%、計 0.17%であり、陽性反応の中度は 2.75%、2.56%、2.65%である。

表 11 被爆者 大腸がん検診

a 受診者数, 要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

男 性				女 性				計						
受診者数	要精検者数	精検受診者数		受診者数	要精検者数	精検受診者数		受診者数	要精検者数	精検受診者数				
	(%) ¹	(%) ²	(%) ¹		(%) ²	(%) ¹	(%) ²							
1,635	109	6.7	82	75.2	1,948	117	6.0	46	39.3	3,583	226	6.3	128	56.6

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	精 検 所 見														有所見例数	
	大腸癌		腺腫		非腫瘍性ポリープ		潰瘍性大腸炎		大腸憩室		その他		正常		有所見例数	(%) ¹
	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹				
男性	3	3.66	31	37.80	16	19.51	0	0.00	10	12.20	7	8.54	15	18.29	67	81.71
女性	3	6.52	20	43.48	6	13.04	0	0.00	6	13.04	3	6.52	8	17.39	38	82.61
計	6	4.69	51	39.84	22	17.19	0	0.00	16	12.50	10	7.81	23	17.97	105	82.03

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

c 被爆状況別に見た大腸癌発見率

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		大腸癌症例		
			(%) ¹	(%) ¹	(%) ²	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応の中度(%) ⁴	
男性	2.0km以内直接被爆群	271	13	4.8	9	69.2	2	0.74	15.38
	2.1km以上直接被爆群	552	37	6.7	28	75.7	1	0.18	2.70
	入市・他群	812	59	7.3	45	76.3	0	0.00	0.00
	計	1,635	109	6.7	82	75.2	3	0.18	2.75
女性	2.0km以内直接被爆群	359	25	7.0	13	52.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	637	46	7.2	15	32.6	3	0.47	6.52
	入市・他群	952	46	4.8	18	39.1	0	0.00	0.00
	計	1,948	117	6.0	46	39.3	3	0.15	2.56
計	2.0km以内直接被爆群	630	38	6.0	22	57.9	2	0.32	5.26
	2.1km以上直接被爆群	1,189	83	7.0	43	51.8	4	0.34	4.82
	入市・他群	1,764	105	6.0	63	60.0	0	0.00	0.00
	計	3,583	226	6.3	128	56.6	6	0.17	2.65

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(キ) 被爆者がん検診別に見たがん発見率

被爆者の5大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診別に見た発見率を表12に示す。子宮がんは0.00%であったが、胃がん(胃部X線検査)は0.22%、胃がん(胃内視鏡検査)は0.83%、肺がんは0.18%、大腸がんは0.17%、乳がんは0.10%である。

表12 被爆者 がん検診別に見たがん発見率

(単位:人)

性	検査種	受診者数	要精検者数		精検受診者数		がん症例 ⁴	
				(%) ¹		(%) ²		発見率(%) ³
男性	胃がん(胃部X線検査)	285	40	14.0	40	100.0	1	0.35
	胃がん(内視鏡検査)	298	24	8.1	24	100.0	3	1.01
	肺がん	2,585	125	4.8	112	89.6	8	0.31
	大腸がん	1,635	109	6.7	82	75.2	3	0.18
女性	胃がん(胃部X線検査)	171	17	9.9	17	100.0	0	0.00
	胃がん(内視鏡検査)	182	18	9.9	18	100.0	1	0.55
	肺がん	2,869	109	3.8	99	90.8	2	0.07
	大腸がん	1,948	117	6.0	46	39.3	3	0.15
	乳がん	993	40	4.0	40	100.0	1	0.10
	子宮がん	672	0	0.0	0	0.0	0	0.00
計	胃がん(胃部X線検査)	456	57	12.5	57	100.0	1	0.22
	胃がん(内視鏡検査)	480	42	8.8	42	100.0	4	0.83
	肺がん	5,454	234	4.3	211	90.2	10	0.18
	大腸がん	3,583	226	6.3	128	56.6	6	0.17
	乳がん	993	40	4.0	40	100.0	1	0.10
	子宮がん	672	0	0.0	0	0.0	0	0.00

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率:症例数/受診者数×100

⁴ 検査により発見された悪性腫瘍の数

(ク) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、高齢化に伴う寝たきり被爆者が増加している現状に鑑み、その要員のひとつである骨折を予防し、寝たきりを防止するために、広島市独自の施策として平成7年4月より実施されている。

令和4年度の受診者数は表13aに示すとおり、男性1,194人、女性1,141人、計2,335人である。

骨量の「減少あり」と判定された有所見率は男性46.9%、女性81.7%、計63.9%である。女性が男性に比して高率であった。被爆状況別にみた結果を表13bに示す。

表13 被爆者 骨粗鬆症検診

a 受診者数および結果

(単位:人)

性	受診者数	測定結果					
		減少なし	減少あり			計	(%) ¹
			軽度	中等度	高度		
男性	1,194	634	317	189	54	560	46.9
女性	1,141	209	389	360	183	932	81.7
計	2,335	843	706	549	237	1,492	63.9

¹ 有所見率:有所見例数/受診者数×100

b 被爆状況別に見た骨密度測定結果

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	測定結果					
			減少なし	減少あり			計	(%) ¹
				軽度	中等度	高度		
男性	2.0km以内直接被爆群	229	107	61	46	15	122	53.3
	2.1km以上直接被爆群	434	242	119	55	18	192	44.2
	入市・他群	531	285	137	88	21	246	46.3
	計	1,194	634	317	189	54	560	46.9
女性	2.0km以内直接被爆群	237	57	75	65	40	180	75.9
	2.1km以上直接被爆群	390	72	130	129	59	318	81.5
	入市・他群	514	80	184	166	84	434	84.4
	計	1,141	209	389	360	183	932	81.7
計	2.0km以内直接被爆群	466	164	136	111	55	302	64.8
	2.1km以上直接被爆群	824	314	249	184	77	510	61.9
	入市・他群	1,045	365	321	254	105	680	65.1
	計	2,335	843	706	549	237	1,492	63.9

¹ 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

オ 原爆被爆二世健康診断の実施

原爆被爆二世の健康面での不安を除く等のために、昭和 48 年度から、広島市の事業として委託を受けて健康診断を開始し、昭和 54 年度からは、財団法人日本公衆衛生協会の事業（国が協会に委託している事業）、平成 13 年度からは国が広島県・広島市に委託している健康診断事業を実施している。また、平成 2 年度からは東京都の健康診断事業もあわせて委託を受けて行っている。

なお、平成 28 年度からは多発性骨髄腫検査も実施している。

健康診断は、被爆者の場合と同様に一般検査と精密検査になっている。

原爆被爆二世健康診断の実施状況は表 14 のとおりである。

表 14 原爆被爆二世健康診断実施状況

(単位：件，%)

年 度	一般検査	精密検査	精検受診率
昭和 48	578	580	100.3
49	109	110	100.9
50	82	83	101.2
51	51	51	100.0
52	131	129	98.5
53	124	126	101.6
54	1,942	1,768	91.0
55	1,041	626	60.1
56	854	494	57.8
57	995	572	57.5
58	1,152	663	57.6
59	1,551	853	55.0
60	1,798	1,072	59.6
61	1,967	1,155	58.7
62	2,250	1,314	58.4
63	2,780	1,551	55.8
平成元	2,417	1,161	48.0
2	2,078	1,127	54.2
3	2,132	1,219	57.2
4	2,309	1,520	65.8
5	2,508	1,610	64.2
6	2,297	1,698	73.9
7	2,391	1,936	81.0
8	2,475	2,138	86.4
9	2,867	2,309	80.5
10	2,786	2,796	100.4

年 度	一般検査	精密検査	精検受診率
11	3,201	3,202	100.0
12	3,711	3,711	100.0
13	3,762	3,762	100.0
14	2,919	2,919	100.0
15	3,150	3,150	100.0
16	2,483	2,483	100.0
17	2,678	2,678	100.0
18	2,497	2,497	100.0
19	2,477	2,477	100.0
20	2,428	2,428	100.0
21	2,565	2,565	100.0
22	2,486	2,486	100.0
23	2,344	2,344	100.0
24	2,525	2,525	100.0
25	2,432	2,432	100.0
26	2,489	2,489	100.0
27	2,452	2,452	100.0
28	2,487	2,487	100.0
29	2,362	2,362	100.0
30	2,285	2,285	100.0
令和元	2,149	2,149	100.0
2	1,881	1,881	100.0
3	2,042	2,042	100.0
4	2,390	2,390	100.0
5	2,843	2,843	100.0

カ 健康管理の推進

(7) 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、(公財)放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫・大腸がん等の悪性新生物の早期発見に努めた。

(4) 生活習慣病の早期発見と指導

増加傾向にある糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症、サルコペニア、認知症等の早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な保健指導及び栄養指導を行った。

キ 健康診断医療機器等の整備

次のとおり機器を更新・整備した。

- ・令和6年(2024年)3月 マンモグラフィ画像読影支援システム設置

ク 被爆者健康管理資料の整備

受診者に関する健診資料(カルテ、心電図所見等)を分類整理し保存するとともに、これら健康診断の実績、結果等について諸統計を作成し、調査研究資料として整備した。

ケ 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

広島県・広島市が国からの受託事業として実施する黒い雨体験者に対する医師・臨床心理士・保健師による相談・支援事業について、医師等の派遣調整、相談会の日程調整及び会場の確保などの業務を実施した。

なお、令和4年度から開始された黒い雨体験者への被爆者健康手帳の交付に伴い、本事業の対象者数が著しく減少し、開催を予定していた巡回相談会(5会場)及び医師等相談会(2会場)のいずれにも予約が入らなかったため、広島県・広島市と協議のうえ、全ての相談会を中止した。

(2) 高齢者医療確保法・健康増進法等による健康診査等

ア 健康診査等の実施

広島市総合健康センターへ移転した平成元年9月から、住民の健康管理を推進するため、広島市の委託を受け、高齢者医療確保法に基づく特定健康診査、健康増進法に基づくがん検診、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断等を実施している。その概要は表1、検査項目は表2、実施状況は表3のとおりである。

表1 検診内容・検診区域の推移

検診項目	施設検診	集 団 検 診			
		中区・東区・南区・西区・佐伯区	安芸区	安佐南区	安佐北区
老健法基本健康診査	元.9～20.3	2.4～20.3		10.4～20.3*	10.4～20.3*◇
特定健康診査・健康診査	20.5～	20.5～	27.4～△	20.5～*	20.5～*
胃がん検診	元.9～	2.4～	4.4～	5.4～	
肺がん検診		8.4～			
乳がん検診□		2.4～	4.4～	5.4～	
子宮頸がん検診					
大腸がん検診	4.11～	4.11～	27.4～△	10.4～*	10.4～*◇
結核健診	元.9～	2.4～			
骨粗鬆症検診	7.10～	30.5～☆			
マンモグラフィ検診	9.4～17.3◎				
C型・B型肝炎ウイルス検査	10.10～	10.10～	31.4～	10.10～*	10.10～*◇

「元.9～」等は、検診開始年月

* 日曜検診及び平成28年～5大がん検診会場（安佐医師会館、安佐公民館を除く）

◇ 白木町は平成2年4月から13年3月まで実施

△ 5大がん検診会場の一部で実施→令和元年度から全会場で実施

◎ 平成17年度から乳がん検診に乳房X線検査（マンモグラフィ）が必須項目

□ 平成30年度から視触診廃止

☆ 平成30年度から令和元年度までは5大がん検診会場のみ実施

表2 健診種別及び検査項目（令和5年度）

種 別	対 象 者（*）	検 査 項 目
特定健康診査	40歳以上75歳未満[年度内に40歳になる39歳の方は受診可]	必須検査：身体測定・血圧測定・尿検査・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・診察 詳細項目：心電図・眼底検査・腎機能検査・貧血検査 追加検査：尿酸検査・腎機能検査・貧血検査 (広島市のみ)
健康診査	医療保険未加入者	上記年齢者の医療保険未加入者
	後期高齢者医療被保険者	75歳以上の方
がん検診	胃がん検診	X線検査については年度内に40歳以上の年齢に達する方 内視鏡検査については年度内に50歳以上の年齢に達する方、2年に1回
	肺がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する方
	乳がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する女性、2年に1回
	子宮頸がん検診	20歳以上の女性、2年に1回
	大腸がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する方
結核健康診断	65歳以上の方[年度内に65歳になる64歳の方は受診可]	胸部X線撮影
骨粗鬆症検診	女性：20歳から5歳間隔の年齢の方 男性：40歳から5歳間隔の年齢の方	骨塩定量検査(超音波方式)
C型・B型肝炎ウイルス検査	各種健診等により肝炎ウイルス検査を受けたことのない、又は、受ける予定のない20歳以上の方	HCV抗体検査 HBs抗原検査

(*)がん検診、結核健康診断及び骨粗鬆症検診は広島市在住者のみ

表3 実施状況

(単位:件)

年度	基本健康診査		が ん 検 診					結核定期健康診断	骨粗鬆症検 診	マンモグラフィ検 診	C型・B型肝炎ウイルス検査
	必須検査	選択検査	胃がん※3	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん				
平成元	418	295	75	1	73	71	-	374	-	-	-
2	14,699	9,910	9,037	757	9,065	8,619	-	22,683	-	-	-
3	15,245	12,060	8,693	483	8,749	8,537	-	22,433	-	-	-
4	15,383	12,051	9,752	392	9,161	8,940	637	22,782	-	-	-
5	15,723	12,471	14,288	401	13,436	13,026	1,692	22,948	-	-	-
6	14,996	12,205	13,556	319	12,357	12,185	1,625	22,053	-	-	-
7	15,278	13,394	13,800	262	12,338	12,165	1,793	21,608	3,585	-	-
8	12,740	12,387	12,387	14,224	10,828	10,803	3,330	16,584	1,834	-	-
9	14,589	14,514	13,579	16,589	11,616	11,280	4,701	18,726	3,685	1,901	-
10	15,308	15,297	12,914	16,472	10,263	10,163	4,821	18,108	4,140	1,745	5,847
11	16,011	16,008	13,246	16,982	10,510	10,498	5,181	19,436	3,182	1,811	9,442
12	16,303	16,302	13,786	17,579	11,174	11,346	5,761	21,187	2,184	1,949	6,303
13	16,970	16,970	14,757	18,792	11,977	12,062	6,347	20,798	2,081	2,327	283
14	18,238	18,238	15,452	20,127	12,296	12,376	7,131	21,914	2,646	2,434	1,641
15	19,352	19,352	16,448	21,258	13,381	13,181	7,854	22,747	2,972	3,224	2,358
16	19,455	19,455	15,862	20,958	13,758	13,066	8,107	22,006	2,228	4,321	2,937
17	18,481	18,481	15,662	20,378	2,961	6,297	8,229	10,314	1,912		2,577
18	19,331	19,331	16,207	21,187	8,011	8,345	8,951	11,148	2,304		2,285
19	19,645	19,645	16,865	21,284	9,266	9,355	9,524	11,630	2,486		1,488
20	特定健康診査※1 特定保健指導		17,062	17,496	8,686	8,976	8,978	10,400	1,589		651
	特定健診	保健指導※4									
	13,840	12									
21	17,141	50	17,718	20,116	11,116	10,623	10,542	12,222	1,911		435
22	14,201	63	17,153	18,905	10,027	9,793	10,087	11,387	2,072		107
23	14,597	70	16,477	19,080	10,636	10,025	14,325	11,174	2,147		111
24	16,285	47	17,033	20,276	10,604	9,724	15,461	12,114	3,090		411
25	18,034	82	16,240	20,499	10,758	9,714	14,230	12,736	2,857		11,885※2
26	19,140	59	15,887	23,965	8,816	7,073	18,822	14,117	3,346		9,974
27	19,240	516	15,830	23,409	9,698	7,475	19,695	13,924	3,009		9,705
28	19,404	566	14,614	22,768	8,646	6,846	18,223	14,061	2,792		7,037
29	19,891	691	15,386(2,837)	23,312	8,392	6,879	17,911	15,156	3,301		7,580
30	20,919	783	13,906(2,360)	24,009	7,917	6,399	18,502	16,071	3,973		6,623
令和元	20,193	635	12,794(2,607)	22,790	8,208	6,627	17,849	15,260	3,455		4,547
◎ 2	15,926	529	10,350(2,138)	18,745	5,861	4,788	15,224	12,437	3,639		2,767
◎ 3	16,207	510	10,795(2,807)	18,562	6,665	5,411	15,604	12,234	3,706		2,624
4	18,219	725	11,096(2,882)	20,132	7,072	5,694	16,645	13,270	4,177		3,255
5	18,408	609	10,607(2,861)	20,036	7,185	5,826	16,541	13,279	4,412		4,724

※1 特定健康診査は、被用者保険加入者の健康診査・医療保険未加入者の健康診査・後期高齢者の健康診査を含む。(令和2年度までは被爆者特定健診も含む)

※2 C型・B型肝炎ウイルス検査は、平成25年度から緊急肝炎ウイルス検査事業(無料)による件数である。

※3 胃がん検診は、平成29年度から、胃部X線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。()内は胃内視鏡検査の受診者数(内数)

※4 特定保健指導の平成20年度は積極的支援のみ、平成21年度からは動機づけ及び積極的支援の件数である。平成27年度より当日支援を開始したため、受診者が増加している。

◎ 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を踏まえ集団健診を中止した期間があるため、受診者数等が減少している。

イ 令和5年度健康診査等実施状況

令和5年度の健康診査等の受診者数は、表4 aに示すとおり、男性7,550人、女性10,858人、計18,408人であった。年齢別にみると、男女とも70歳代が多かった。区別の受診者数では、西区が16.0%と最も多く、次いで南区が15.2%、中区が14.9%、安佐南区が12.7%であった(表4 b)。

表4 健康診査等

a 受診者数 (単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		(%)		(%)		(%)
39～49	642	8.5	1,287	11.9	1,929	10.5
50～59	751	9.9	1,387	12.8	2,138	11.6
60～69	1,686	22.3	2,775	25.6	4,461	24.2
70～79	3,517	46.6	4,384	40.4	7,901	42.9
80以上	954	12.6	1,025	9.4	1,979	10.8
計	7,550	100.0	10,858	100.0	18,408	100.0

b 区別にみた受診者数 (単位：人)

区分	男性		女性		計	
		(%)		(%)		(%)
中区	1,073	14.2	1,671	15.4	2,744	14.9
東区	899	11.9	1,181	10.9	2,080	11.3
南区	1,121	14.8	1,672	15.4	2,793	15.2
西区	1,229	16.3	1,723	15.9	2,952	16.0
安佐南区	931	12.3	1,405	12.9	2,336	12.7
安佐北区	813	10.8	1,163	10.7	1,976	10.7
安芸区	539	7.1	769	7.1	1,308	7.1
佐伯区	942	12.5	1,265	11.7	2,207	12.0
市外	3	0.0	9	0.1	12	0.1
計	7,550	100.0	10,858	100.0	18,408	100.0

*対象は広島市特定健康診査等の受診者

ウ 令和4年度がん検診等実施状況

(7) 胃がん検診

胃部X線検査による胃がん検診の受診者数は表5 aに示すとおり、男性3,489人、女性4,725人、計8,214人である。要精検率は男性7.9%、女性4.0%、計5.6%、精検受診率はそれぞれ83.6%、93.1%、87.5%である。要精検率は男性が女性に比しやや高率である。(全体で見ると、高齢になるほど高率となる。)

精検結果は表5 bに示すとおり、胃部X線検査後の内視鏡検査では、有所見率は男性95.20%、女性92.05%、計93.83%であり、男性が女性に比し高率である。主な所見の内訳は、胃潰瘍と胃ポリープが同数で8.64%と最も多く、次いで非上皮性腫瘍8.15%、胃癌2.96%である。

胃内視鏡検査による胃がん検診の受診者数は表5 aに示すとおり、男性1,493人、女性1,389人、計2,882人である。精検結果は表5 bに示すとおり、有所見率は男性86.74%、女性78.55%、計82.79%である。主な所見の内訳は、非上皮性腫瘍4.75%、胃潰瘍3.23%、胃ポリープ2.71%、胃癌0.52%である。

令和4年度新たに発見された胃癌症例は表5 cに示すとおりである。胃部X線検査では、胃癌症例は男性10例、女性2例、計12例である。胃癌発見率は男性0.29%、女性0.04%、計0.15%、陽性反応的中度はそれぞれ3.65%、1.06%、2.59%である。

胃内視鏡検査では、胃癌症例は男性 10 例、女性 5 例、計 15 例である。胃癌発見率は男性 0.67%、女性 0.36%、計 0.52%である。

厚生労働省の令和 3 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の胃癌発見率 0.12%、陽性反応的中度 1.96%に比し胃癌発見率、陽性反応的中度はともに約 1.3 倍と高率で、本協議会の胃がん検診の精度は良好と考える。

表 5 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

胃部 X 線検査

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²					
39~49	513	17	3.3	12	70.6	1,296	20	1.5	19	95.0	1,809	37	2.0	31	83.8
50~59	476	14	2.9	12	85.7	836	18	2.2	17	94.4	1,312	32	2.4	29	90.6
60~69	915	68	7.4	58	85.3	1,155	57	4.9	51	89.5	2,070	125	6.0	109	87.2
70~79	1,344	141	10.5	120	85.1	1,288	81	6.3	79	97.5	2,632	222	8.4	199	89.6
80以上	241	34	14.1	27	79.4	150	13	8.7	10	76.9	391	47	12.0	37	78.7
計	3,489	274	7.9	229	83.6	4,725	189	4.0	176	93.1	8,214	463	5.6	405	87.5

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

受診者数

単位(人)

年齢 (歳)	男 性	女 性	計
49~59	125	240	365
60~69	449	401	850
70~79	743	616	1,359
80以上	176	132	308
計	1,493	1,389	2,882

b 精検結果

胃部 X 線検査

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数		陽性反応的中度 (%) ²		
		胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常			(%) ¹	
		(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹					
男性	39~49	0	0.00	1	8.33	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	16.67	9	75.00	0	0.00	12	100.00	0.00
	50~59	0	0.00	1	8.33	0	0.00	0	0.00	1	8.33	0	0.00	10	83.33	0	0.00	12	100.00	0.00
	60~69	1	1.72	4	6.90	0	0.00	0	0.00	4	6.90	8	13.79	40	68.97	1	1.72	57	98.28	1.72
	70~79	6	5.00	4	3.33	0	0.00	1	0.83	5	4.17	18	15.00	77	64.17	9	7.50	111	92.50	5.00
	80以上	3	11.11	2	7.41	1	3.70	0	0.00	1	3.70	0	0.00	19	70.37	1	3.70	26	96.30	11.11
計	10	4.37	12	5.24	1	0.44	1	0.44	11	4.80	28	12.23	155	67.69	11	4.80	218	95.20	4.37	
女性	39~49	1	5.26	2	10.53	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	5.26	10	52.63	5	26.32	14	73.68	5.26
	50~59	1	5.88	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	5.88	1	5.88	14	82.35	0	0.00	17	100.00	5.88
	60~69	0	0.00	8	15.69	0	0.00	0	0.00	8	15.69	1	1.96	32	62.75	2	3.92	49	96.08	0.00
	70~79	0	0.00	11	13.92	0	0.00	1	1.27	13	16.46	3	3.80	45	56.96	6	7.59	73	92.41	0.00
	80以上	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	20.00	1	10.00	6	60.00	1	10.00	9	90.00	0.00
計	2	1.14	21	11.93	0	0.00	1	0.57	24	13.64	7	3.98	107	60.80	14	7.95	162	92.05	1.14	
計	39~49	1	3.23	3	9.68	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	9.68	19	61.29	5	16.13	26	83.87	3.23
	50~59	1	3.45	1	3.45	0	0.00	0	0.00	2	6.90	1	3.45	24	82.76	0	0.00	29	100.00	3.45
	60~69	1	0.92	12	11.01	0	0.00	0	0.00	12	11.01	9	8.26	72	66.06	3	2.75	106	97.25	0.92
	70~79	6	3.02	15	7.54	0	0.00	2	1.01	18	9.05	21	10.55	122	61.31	15	7.54	184	92.46	3.02
	80以上	3	8.11	2	5.41	1	2.70	0	0.00	3	8.11	1	2.70	25	67.57	2	5.41	35	94.59	8.11
計	12	2.96	33	8.15	1	0.25	2	0.49	35	8.64	35	8.64	262	64.69	25	6.17	380	93.83	2.96	

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数×100

² 陽性反応的中度: 胃癌症例数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	年齢 (歳)	受診者数	精 検 所 見													有所見例数				
			胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常		有所見例数 (%) ¹	
			(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹				
男性	49~59	125	0	0.00	2	1.60	0	0.00	0	0.00	1	0.80	0	0.00	89	71.20	33	26.40	92	73.60
	60~69	449	3	0.67	17	3.79	1	0.22	1	0.22	10	2.23	21	4.68	327	72.83	69	15.37	380	84.63
	70~79	743	4	0.54	36	4.85	1	0.13	3	0.40	28	3.77	35	4.71	560	75.37	75	10.09	667	89.77
	80以上	176	3	1.70	9	5.11	1	0.57	2	1.14	7	3.98	9	5.11	125	71.02	20	11.36	156	88.64
	計	1,493	10	0.67	64	4.29	3	0.20	6	0.40	46	3.08	65	4.35	1,101	73.74	197	13.19	1,295	86.74
女性	49~59	240	0	0.00	7	2.92	0	0.00	0	0.00	3	1.25	1	0.42	121	50.42	107	44.58	132	55.00
	60~69	401	0	0.00	26	6.48	0	0.00	0	0.00	8	2.00	5	1.25	268	66.83	94	23.44	307	76.56
	70~79	616	3	0.49	28	4.55	0	0.00	0	0.00	16	2.60	18	2.92	475	77.11	76	12.34	540	87.66
	80以上	132	2	1.52	12	9.09	0	0.00	0	0.00	5	3.79	4	3.03	89	67.42	19	14.39	112	84.85
	計	1,389	5	0.36	73	5.26	0	0.00	0	0.00	32	1.60	28	2.02	953	68.61	296	21.31	1,091	78.55
計	49~59	365	0	0.00	9	2.47	0	0.00	0	0.00	4	1.10	1	0.27	210	57.53	140	38.36	224	61.37
	60~69	850	3	0.35	43	5.06	1	0.12	1	0.12	18	2.12	26	3.06	595	70.00	163	19.18	687	80.82
	70~79	1,359	7	0.52	64	4.71	1	0.07	3	0.22	44	3.24	53	3.90	1,035	76.16	151	11.11	1,207	88.82
	80以上	308	5	1.62	21	6.82	1	0.32	2	0.65	12	3.90	13	4.22	214	69.48	39	12.66	268	87.01
	計	2,882	15	0.52	137	4.75	3	0.10	6	0.21	78	2.71	93	3.23	2,054	71.27	493	17.11	2,386	82.79

¹ 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た胃癌発見率

胃部×線検査

(単位:人)

性	検診状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃 癌 症 例		
			人数	(%) ¹	人数	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応の中度(%) ⁴	
								人数	(%) ⁴
男性	施設検診	2,267	141	6.2	120	85.1	7	0.31	4.96
	集団検診	1,222	133	10.9	109	82.0	3	0.25	2.26
	計	3,489	274	7.9	229	83.6	10	0.29	3.65
女性	施設検診	2,548	80	3.1	77	96.3	1	0.04	1.25
	集団検診	2,177	109	5.0	99	90.8	1	0.05	0.92
	計	4,725	189	4.0	176	93.1	2	0.04	1.06
計	施設検診	4,815	221	4.6	197	89.1	8	0.17	3.62
	集団検診	3,399	242	7.1	208	86.0	4	0.12	1.65
	計	8,214	463	5.6	405	87.5	12	0.15	2.59
令和3年度全国		2,162,342	131,881	6.09	-	81.4	2,584	0.12	1.96

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	検診状況	受診者数	胃 癌 症 例	
			人数	発見率(%) ¹
男性	施設検診	1,493	10	0.67
女性	施設検診	1,389	5	0.36
計		2,882	15	0.52

¹ 発見率: 症例数/受診者数×100

(イ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 6 a に示すとおり、男性 8,236 人、女性 11,896 人、計 20,132 人である。要精検率は男性 3.2%、女性 2.4%、計 2.7%、精検受診率はそれぞれ 89.1%、95.0%、92.1%である。

精検結果は表 6 b に示すとおり、有所見率は男性 77.54%、女性 73.51%、計 75.40%である。主な所見の内訳は、非結核性抗酸菌症 5.16%、肺線維症 4.17%、肺癌と肺炎が 3.77%、縦隔腫瘍 0.60%である。

令和 4 年度新たに発見された肺癌症例は表 6 c に示すとおり、男性 10 例、女性 9 例、計

19例である。肺癌発見率は男性0.12%、女性0.08%、計0.09%で、陽性反応的中度はそれぞれ3.77%、3.19%、3.47%である。

厚生労働省の令和3年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の肺癌発見率0.06%、陽性反応的中度2.68%に比し肺癌発見率で約1.5倍、陽性反応的中度で約1.3倍高率で、本協議会の肺がん検診の精度は良好と考える。

表6 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		
39~49	670	7	1.0	6	85.7	1,876	16	0.9	14	87.5	2,546	23	0.9	20	87.0
50~59	798	25	3.1	19	76.0	1,695	20	1.2	20	100.0	2,493	45	1.8	39	86.7
60~69	1,939	59	3.0	56	94.9	2,844	69	2.4	64	92.8	4,783	128	2.7	120	93.8
70~79	3,791	130	3.4	114	87.7	4,413	122	2.8	116	95.1	8,204	252	3.1	230	91.3
80以上	1,038	44	4.2	41	93.2	1,068	55	5.1	54	98.2	2,106	99	4.7	95	96.0
計	8,236	265	3.2	236	89.1	11,896	282	2.4	268	95.0	20,132	547	2.7	504	92.1

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数			
		肺 癌		縦隔腫瘍		活動性肺結核		非結核性抗酸菌症		肺 炎		肺線維症		その他		正 常		(%) ¹	
		(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹				
男性	39~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	5	83.33	1	16.67	5	83.33
	50~59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	13	68.42	6	31.58	13	68.42
	60~69	0	0.00	1	1.79	1	1.79	2	3.57	1	1.79	2	3.57	33	58.93	16	28.57	40	71.43
	70~79	9	7.89	1	0.88	0	0.00	2	1.75	5	4.39	9	7.89	65	57.02	23	20.18	91	79.82
	80以上	1	2.44	1	2.44	0	0.00	3	7.32	2	4.88	4	9.76	23	56.10	7	17.07	34	82.93
計	10	4.24	3	1.27	1	0.42	7	2.97	8	3.39	15	6.36	139	58.90	53	22.46	183	77.54	
女性	39~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	6	42.86	8	57.14	6	42.86
	50~59	1	5.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	5.00	10	50.00	8	40.00	12	60.00
	60~69	2	3.13	0	0.00	0	0.00	4	6.25	4	6.25	0	0.00	34	53.13	20	31.25	44	68.75
	70~79	3	2.59	0	0.00	0	0.00	8	6.90	3	2.59	1	0.86	74	63.79	27	23.28	89	76.72
	80以上	3	5.56	0	0.00	0	0.00	7	12.96	4	7.41	4	7.41	28	51.85	8	14.81	46	85.19
計	9	3.36	0	0.00	0	0.00	19	7.09	11	4.10	6	2.24	152	56.72	71	26.49	197	73.51	
計	39~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	11	55.00	9	45.00	11	55.00
	50~59	1	2.56	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	2.56	23	58.97	14	35.90	25	64.10
	60~69	2	1.67	1	0.83	1	0.83	6	5.00	5	4.17	2	1.67	67	55.83	36	30.00	84	70.00
	70~79	12	5.22	1	0.43	0	0.00	10	4.35	8	3.48	10	4.35	139	60.43	50	21.74	180	78.26
	80以上	4	4.21	1	1.05	0	0.00	10	10.53	6	6.32	8	8.42	51	53.68	15	15.79	80	84.21
計	19	3.77	3	0.60	1	0.20	26	5.16	19	3.77	21	4.17	291	57.74	124	24.60	380	75.40	

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た肺癌発見率

(単位:人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		肺 癌 症 例		
			(%) ¹	(%) ²	(%) ²	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴	
男性	施設検診	5,983	191	3.2	169	88.5	6	0.10	3.14
	集団検診	2,253	74	3.3	67	90.5	4	0.18	5.41
	計	8,236	265	3.2	236	89.1	10	0.12	3.77
女性	施設検診	7,648	175	2.3	167	95.4	3	0.04	1.71
	集団検診	4,248	107	2.5	101	94.4	6	0.14	5.61
	計	11,896	282	2.4	268	95.0	9	0.08	3.19
計	施設検診	13,631	366	2.7	336	91.8	9	0.07	2.46
	集団検診	6,501	181	2.8	168	92.8	10	0.15	5.52
	計	20,132	547	2.7	504	92.1	19	0.09	3.47
令和3年度全国		7,290,550	151,133	2.07	-	82.4	4,049	0.06	2.68

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(ウ) 乳がん検診

乳がん検診の対象者は40才以上で、2年に1回受診することができる。乳がん検診の受診者数は表7 aに示すとおり、7,072人である。要精検率は4.1%、精検受診率は97.3%である。

精検結果は表7 bに示すとおり、有所見率は71.23%で、主な所見の内訳は、良性腫瘍18.95%、乳癌15.44%である。

令和4年度新たに発見された乳癌症例は表7 cに示すとおり、44例である。乳癌発見率は0.62%、陽性反応的中度は15.02%である。

厚生労働省の令和3年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の乳癌発見率0.36%、陽性反応的中度6.30%に比し乳癌発見率で約1.7倍、陽性反応的中度で約2.4倍高率で、本協議会の乳がん検診の精度は良好と考える。

表7 乳がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

年齢 (歳)	乳がん検診				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²
39～49	1,548	98	6.3	96	98.0
50～59	1,108	42	3.8	40	95.2
60～69	1,642	58	3.5	55	94.8
70～79	2,291	75	3.3	74	98.7
80以上	483	20	4.1	20	100.0
計	7,072	293	4.1	285	97.3

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

年齢 (歳)	精検所見														有所見例数 (%) ¹					
	悪性腫瘍							良性疾患				所見なし (%) ¹	正常 (%) ¹							
	乳癌				その他 (%) ¹	良性腫瘍		その他の良性疾患												
	(%) ¹	早期 (%) ¹	進行期 (%) ¹	病期不明 (%) ¹		(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹											
39～49	6	6.25	2	2.08	4	4.17	0	0.00	0	0.00	26	27.08	42	43.75	0	0.00	22	22.92	74	77.08
50～59	10	25.00	8	20.00	2	5.00	0	0.00	0	0.00	9	22.50	12	30.00	0	0.00	9	22.50	31	77.50
60～69	8	14.55	6	10.91	2	3.64	0	0.00	0	0.00	9	16.36	20	36.36	0	0.00	18	32.73	37	67.27
70～79	13	17.57	7	9.46	6	8.11	0	0.00	0	0.00	9	12.16	27	36.49	0	0.00	25	33.78	49	66.22
80以上	7	35.00	6	30.00	1	5.00	0	0.00	0	0.00	1	5.00	4	20.00	0	0.00	8	40.00	12	60.00
計	44	15.44	29	10.18	15	5.26	0	0.00	0	0.00	54	18.95	105	36.84	0	0.00	82	28.77	203	71.23

¹ 有所見率: 所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た乳癌発見率

(単位:人)

検診状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		乳癌症例		
		(%) ¹	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴			
施設検診	3,992	156	3.9	150	96.2	27	0.68	17.31
集団検診	3,080	137	4.4	135	98.5	17	0.55	12.41
計	7,072	293	4.1	285	97.3	44	0.62	15.02
令和3年度全国	2,976,460	170,272	5.72	-	90.2	10,720	0.36	6.30

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(I) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の対象者は20歳以上で、2年に1回受診することができる。子宮頸がん検診の受診者数は表8 aに示すとおり、5,694人である。要精検率は0.9%、精検受診率は94.2%である。

精検結果は表8 bに示すとおり、有所見率は71.43%である。主な所見の内訳は、CIN1が26.53%、CIN3が6.12%、子宮頸癌とCIN2が4.08%である。

令和4年度新たに発見された子宮頸癌症例は表8 cに示すとおり、2例である。子宮頸癌発見率0.04%、陽性反応的中度は3.85%である。

厚生労働省の令和3年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の子宮頸癌発見率0.03%、陽性反応的中度1.30%に比し子宮頸癌発見率はほぼ同等であるが、陽性反応的中度は約3倍高率である。

表8 子宮頸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検受診者数	
			(%) ¹		(%) ²
20~29	97	7	7.2	6	85.7
30~39	171	2	1.2	2	100.0
40~49	978	16	1.6	15	93.8
50~59	883	13	1.5	12	92.3
60~69	1,365	7	0.5	7	100.0
70~79	1,817	4	0.2	4	100.0
80以上	383	3	0.8	3	100.0
計	5,694	52	0.9	49	94.2

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

年齢 (歳)	精 検 所 見											有所見例数								
	子宮頸癌	その他の悪性疾患		AIS		CIN3		CIN2		HSIL				CIN1		その他	正常			
	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹					
21~29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	5	83.33	1	16.67	0	0.00	6	100.00
30~39	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	100.00	0	0.00	2	100.00
40~49	1	6.67	0	0.00	0	0.00	1	6.67	0	0.00	0	0.00	4	26.67	6	40.00	3	20.00	12	80.00
50~59	1	8.33	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	8.33	0	0.00	2	16.67	2	16.67	6	50.00	6	50.00
60~69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	28.57	1	14.29	0	0.00	1	14.29	0	0.00	3	42.86	4	57.14
70~79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	50.00	2	50.00	2	50.00
80以上	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	33.33	2	66.67	0	0.00	3	100.00
計	2	4.08	0	0.00	0	0.00	3	6.12	2	4.08	0	0.00	13	26.53	15	30.61	14	28.57	35	71.43

¹ 有所見率: 所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た子宮頸癌発見率

(単位:人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		子 宮 頸 癌 症 例		
			(%) ¹		(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴	
施 設 検 診	3,144	28	0.9	25	89.3	1	0.03	3.57
集 団 検 診	2,550	24	0.9	24	100.0	1	0.04	4.17
計	5,694	52	0.9	49	94.2	2	0.04	3.85
令和3年度全国	4,119,481	86,025	2.09	-	77.6	1,121	0.03	1.30

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数は表 9 a に示すとおり、男性 6,791 人、女性 9,854 人、計 16,645 人である。要精検率は男性 11.7%、女性 8.1%、計 9.6%、精検受診率はそれぞれ 79.9%、82.3%、81.1%である。

精検結果は表 9 b に示すとおり、有所見率は男性 78.18%、女性 67.27%、計 72.63%である。主な所見の内訳は、腺腫 38.47%、大腸憩室 10.33%、非腫瘍性ポリープ 5.78%、大腸癌 4.39%である。

令和 4 年度新たに発見された大腸癌症例は表 9 c に示すとおり、男性 32 例、女性 25 例、計 57 例である。大腸癌発見率は男性 0.47%、女性 0.25%、計 0.34%であり、陽性反応的中度はそれぞれ 4.02%、3.12%、3.56%である。

厚生労働省の令和 3 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の大腸癌発見率 0.23%、陽性反応的中度 3.31%に比し大腸がん発見率は約 1.5 倍で、陽性反応的中度もやや高率である。

表 9 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²		
39~49	553	42	7.6	32	76.2	1,577	110	7.0	84	76.4	2,130	152	7.1	116	76.3
50~59	664	62	9.3	48	77.4	1,515	86	5.7	74	86.0	2,179	148	6.8	122	82.4
60~69	1,691	180	10.6	140	77.8	2,520	183	7.3	155	84.7	4,211	363	8.6	295	81.3
70~79	3,084	383	12.4	319	83.3	3,438	308	9.0	256	83.1	6,522	691	10.6	575	83.2
80以上	799	130	16.3	98	75.4	804	115	14.3	91	79.1	1,603	245	15.3	189	77.1
計	6,791	797	11.7	637	79.9	9,854	802	8.1	660	82.3	16,645	1,599	9.6	1,297	81.1

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数			
		大腸癌		大腸癌以外の悪性腫瘍		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		潰瘍性大腸炎		大腸憩室		その他		正 常		(%) ¹	
		(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹				
男 性	40~49	2	6.25	0	0.00	10	31.25	0	0.00	1	3.13	0	0.00	4	12.50	15	46.88	17	53.13
	50~59	3	6.25	0	0.00	17	35.42	3	6.25	0	0.00	3	6.25	8	16.67	14	29.17	34	70.83
	60~69	4	2.86	0	0.00	58	41.43	9	6.43	2	1.43	18	12.86	13	9.29	36	25.71	104	74.29
	70~79	20	6.27	0	0.00	158	49.53	20	6.27	0	0.00	41	12.85	26	8.15	54	16.93	265	83.07
	80以上	3	3.06	0	0.00	47	47.96	7	7.14	0	0.00	7	7.14	14	14.29	20	20.41	78	79.59
	計	32	5.02	0	0.00	290	45.53	39	6.12	3	0.47	69	10.83	65	10.20	139	21.82	498	78.18
女 性	40~49	3	3.57	0	0.00	24	28.57	1	1.19	0	0.00	3	3.57	8	9.52	45	53.57	39	46.43
	50~59	0	0.00	0	0.00	18	24.32	2	2.70	1	1.35	6	8.11	17	22.97	30	40.54	44	59.46
	60~69	8	5.16	0	0.00	43	27.74	11	7.10	1	0.65	19	12.26	22	14.19	51	32.90	104	67.10
	70~79	12	4.69	1	0.39	94	36.72	12	4.69	0	0.00	28	10.94	39	15.23	70	27.34	186	72.66
	80以上	2	2.20	0	0.00	30	32.97	10	10.99	0	0.00	9	9.89	20	21.98	20	21.98	71	78.02
	計	25	3.79	1	0.15	209	31.67	36	5.45	2	0.30	65	9.85	106	16.06	216	32.73	444	67.27
計	40~49	5	4.31	0	0.00	34	29.31	1	0.86	1	0.86	3	2.59	12	10.34	60	51.72	56	48.28
	50~59	3	2.46	0	0.00	35	28.69	5	4.10	1	0.82	9	7.38	25	20.49	44	36.07	78	63.93
	60~69	12	4.07	0	0.00	101	34.24	20	6.78	3	1.02	37	12.54	35	11.86	87	29.49	208	70.51
	70~79	32	5.57	1	0.17	252	43.83	32	5.57	0	0.00	69	12.00	65	11.30	124	21.57	451	78.43
	80以上	5	2.65	0	0.00	77	40.74	17	8.99	0	0.00	16	8.47	34	17.99	40	21.16	149	78.84
	計	57	4.39	1	0.08	499	38.47	75	5.78	5	0.39	134	10.33	171	13.18	355	27.37	942	72.63

¹ 有所見率: 所見例数/精検受診者数 × 100

c 検診状況別に見た大腸癌発見率

(単位:人)

性	検診状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		大腸癌症例		
				(%) ¹		(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応の中度(%) ⁴	
男性	施設検診	5,171	590	11.4	481	81.5	22	0.43	3.73
	集団検診	1,620	207	12.8	156	75.4	10	0.62	4.83
	計	6,791	797	11.7	637	79.9	32	0.47	4.02
女性	施設検診	6,554	516	7.9	424	82.2	16	0.24	3.10
	集団検診	3,300	286	8.7	236	82.5	9	0.27	3.15
	計	9,854	802	8.1	660	82.3	25	0.25	3.12
計	施設検診	11,725	1,106	9.4	905	81.8	38	0.32	3.44
	集団検診	4,920	493	10.0	392	79.5	19	0.39	3.85
	計	16,645	1,599	9.6	1,297	81.1	57	0.34	3.56
令和3年度全国		7,830,887	551,691	7.05	-	68.9	18,243	0.23	3.31

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例/受診者数×100

⁴ 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数×100

(カ) がん検診別に見たがん発見率

5大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診別に見た発見率を表10に示す。

胃がん(胃部X線検査)・胃がん(内視鏡検査)・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの発見率はそれぞれ0.15%、0.52%、0.09%、0.34%、0.62%、0.04%である。

表10 がん検診別に見たがん発見率

(単位:人)

性	検査種	受診者数	要精検者数		精検受診者数		癌症例	
				(%) ¹		(%) ²	発見率(%) ³	
男性	胃がん(胃部X線検査)	3,489	274	7.9	229	83.6	10	0.29
	胃がん(内視鏡検査)	1,493					10	0.67
	肺がん	8,236	265	3.2	236	89.1	10	0.12
	大腸がん	6,791	797	11.7	637	79.9	32	0.47
女性	胃がん(胃部X線検査)	4,725	189	4.0	176	93.1	2	0.04
	胃がん(内視鏡検査)	1,389					5	0.36
	肺がん	11,896	282	2.4	268	95.0	9	0.08
	大腸がん	9,854	802	8.1	660	82.3	25	0.25
	乳がん	7,072	293	4.1	285	97.3	44	0.62
	子宮頸がん	5,694	52	0.9	49	94.2	2	0.04
計	胃がん(胃部X線検査)	8,214	463	5.6	405	87.5	12	0.15
	胃がん(内視鏡検査)	2,882					15	0.52
	肺がん	20,132	547	2.7	504	92.1	19	0.09
	大腸がん	16,645	1,599	9.6	1,297	81.1	57	0.34
	乳がん	7,072	293	4.1	285	97.3	44	0.62
	子宮頸がん	5,694	52	0.9	49	94.2	2	0.04

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

(キ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、寝たきりの主要な原因として骨折が大きな比重を占めている現状に鑑み、その最大原因としての骨粗鬆症を早期発見・早期予防するために、広島市独自の施策として平成7年10月より開始された(平成16年4月からの検診対象者は、男性では40歳以上、女性では20歳以上の5歳刻み)。

令和4年度の受診者数は表11に示すとおりで、男性1,487人、女性2,690人、計4,177人である。

骨量の「異常あり」と判定された有所見率は、男性38.9%、女性63.5%、全体で54.8%である。

表11 骨粗鬆症検診

(単位：人)

性	年齢 (歳)	受診者数	測定結果				計	計 (%) ¹
			異常なし	要指導	要精検査			
男性	40・45	52	36	13	3	16	30.8	
	50・55	78	53	21	4	25	32.1	
	60・65	199	135	48	16	64	32.2	
	70・75	858	524	287	47	334	38.9	
	80・85・90・95	300	160	103	37	140	46.7	
	計	1,487	908	472	107	579	38.9	
女性	25・30・35・40・45	295	246	49	0	49	16.6	
	50・55	374	239	117	18	135	36.1	
	60・65	498	170	249	79	328	65.9	
	70・75	1,198	260	609	329	938	78.3	
	80・85・90・95	325	66	133	126	259	79.7	
	計	2,690	981	1,157	552	1,709	63.5	
計	25・30・35・40・45	347	282	62	3	65	18.7	
	50・55	452	292	138	22	160	35.4	
	60・65	697	305	297	95	392	56.2	
	70・75	2,056	784	896	376	1,272	61.9	
	80・85・90・95	625	226	236	163	399	63.8	
	計	4,177	1,889	1,629	659	2,288	54.8	

¹ 有所見率：「要指導」「要精検査」例数/受診者数×100

(注)平成27年度より、測定結果を「減少なし・軽度・中等度・高度」から変更

(ク) 結核健康診断

結核健康診断は、平成元年9月から広島市の委託を受けて開始した。

令和4年度の受診者数は表12aに示すとおり、男性6,091人、女性7,179人、計13,270人である。区別の受診者数は表12bに示すとおり、安佐北区が最も多く、次いで南区、西区、安佐南区の順である。要精検率は表12cのとおり、男性3.5%、女性3.1%、計3.3%である。

表12 結核健診

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		(%)		(%)		(%)
64～69	1,258	20.7	1,696	23.6	2,954	22.3
70～79	3,794	62.3	4,414	61.5	8,208	61.9
80以上	1,039	17.1	1,069	14.9	2,108	15.9
計	6,091	100.0	7,179	100.0	13,270	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区分	男性		女性		計	
		(%)		(%)		(%)
中区	724	11.9	909	12.7	1,633	12.3
東区	725	11.9	791	11.0	1,516	11.4
南区	856	14.1	1,051	14.6	1,907	14.4
西区	841	13.8	971	13.5	1,812	13.7
安佐南区	814	13.4	948	13.2	1,762	13.3
安佐北区	923	15.2	1,074	15.0	1,997	15.0
安芸区	480	7.9	550	7.7	1,030	7.8
佐伯区	728	12.0	885	12.3	1,613	12.2
計	6,091	100.0	7,179	100.0	13,270	100.0

c 要精検率

(単位：人)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			(%) ¹			(%) ¹			(%) ¹
64～69	1,258	42	3.3	1,696	45	2.7	2,954	87	2.9
70～79	3,794	130	3.4	4,414	122	2.8	8,208	252	3.1
80以上	1,039	44	4.2	1,069	55	5.1	2,108	99	4.7
計	6,091	216	3.5	7,179	222	3.1	13,270	438	3.3

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

工 健康管理資料の整備

受診者の健診資料（健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等）を整理、保管した。

(3) 本協議会で発見した悪性新生物症例

本協議会ではがん検診の一次検診だけでなく、消化管内視鏡・超音波・CT・MRI等の検査機器を使用しがん検診の精密検査医療機関としても機能しており、人間ドック受診者や他施設のがん検診受診者の中で要精検となった方々の精密検査も行っている。また健診で自他覚症状より精密検査を行い発見しえた癌症例もある。それらの症例を表13本協議会で発見した悪性新生物症例として示す。

表13 本協議会で発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	病名	No.	年齢	性別	病名
*1	89	M	原 発 性 肺 癌	58	59	F	進 行 胃 癌
*2	87	M	原 発 性 肺 癌	59	77	M	進 行 胃 癌
*3	93	M	原 発 性 肺 癌	60	66	M	進 行 胃 癌
*4	76	M	原 発 性 肺 癌	61	80	M	早 期 食 道 癌
*5	79	M	原 発 性 肺 癌	62	63	M	早 期 食 道 癌
*6	87	F	原 発 性 肺 癌	63	80	M	早 期 食 道 癌
*7	88	M	原 発 性 肺 癌	64	66	M	早 期 食 道 癌
*8	76	M	原 発 性 肺 癌	65	85	M	早 期 食 道 癌
9	78	F	原 発 性 肺 癌	*66	84	M	早 期 食 道 癌
10	72	M	原 発 性 肺 癌	*67	85	M	胃 悪 性 リンパ腫
11	73	M	原 発 性 肺 癌	68	73	F	胃 M A L T o m a
12	83	F	原 発 性 肺 癌	69	75	M	胃 M A L T o m a
13	80	F	原 発 性 肺 癌	*70	83	M	胃 M A L T o m a
14	72	M	原 発 性 肺 癌	71	63	F	直 腸 癌 (早 期)
15	81	M	原 発 性 肺 癌	72	68	M	直 腸 癌 (早 期)
16	77	M	原 発 性 肺 癌	73	60	F	直 腸 癌 (早 期)
17	69	F	原 発 性 肺 癌	74	78	F	直 腸 癌 (早 期)
18	78	F	原 発 性 肺 癌	75	79	M	直 腸 癌 (早 期)
19	74	F	原 発 性 肺 癌	76	76	M	直 腸 癌 (早 期)
20	75	M	原 発 性 肺 癌	77	63	M	直 腸 癌 (早 期)
21	59	F	原 発 性 肺 癌	78	69	M	直 腸 癌 (早 期)
22	79	M	原 発 性 肺 癌	79	57	M	直 腸 癌 (早 期)
23	71	M	原 発 性 肺 癌	80	78	F	直 腸 癌 (早 期)
24	85	F	原 発 性 肺 癌	81	76	M	直 腸 癌 (早 期)
25	77	M	原 発 性 肺 癌	82	64	M	直 腸 癌 (早 期)
26	72	M	原 発 性 肺 癌	83	50	M	直 腸 癌 (早 期)
27	65	F	原 発 性 肺 癌	84	78	M	直 腸 癌 (進 行)
28	65	F	原 発 性 肺 癌	85	76	M	直 腸 癌 (進 行)
*29	77	F	M A L T リンパ腫	86	76	M	直 腸 癌 (進 行)
*30	79	M	早 期 胃 癌	87	59	M	直 腸 癌 (進 行)
31	79	M	早 期 胃 癌	88	59	M	直 腸 癌 (進 行)
32	74	M	早 期 胃 癌	89	76	M	直 腸 癌 (進 行)
33	79	M	早 期 胃 癌	90	73	M	直 腸 癌 (進 行)
34	81	M	早 期 胃 癌	*91	78	F	大 腸 癌 (早 期)
35	45	F	早 期 胃 癌	92	53	M	大 腸 癌 (早 期)
36	81	M	早 期 胃 癌	93	70	M	大 腸 癌 (早 期)
37	80	M	早 期 胃 癌	94	76	F	大 腸 癌 (早 期)
38	67	F	早 期 胃 癌	95	65	F	大 腸 癌 (早 期)
39	62	M	早 期 胃 癌	96	82	M	大 腸 癌 (早 期)
40	75	M	早 期 胃 癌	97	46	F	大 腸 癌 (早 期)
41	78	M	早 期 胃 癌	98	67	F	大 腸 癌 (早 期)
42	64	M	早 期 胃 癌	99	45	M	大 腸 癌 (早 期)
43	78	F	早 期 胃 癌	100	49	F	大 腸 癌 (早 期)
44	77	M	早 期 胃 癌	101	73	F	大 腸 癌 (早 期)
45	77	M	早 期 胃 癌	102	80	F	大 腸 癌 (早 期)
46	71	F	早 期 胃 癌	103	84	M	大 腸 癌 (早 期)
47	63	M	早 期 胃 癌	104	75	M	大 腸 癌 (早 期)
48	70	M	早 期 胃 癌	105	48	M	大 腸 癌 (早 期)
49	91	F	早 期 胃 癌	106	76	M	大 腸 癌 (早 期)
50	85	M	早 期 胃 癌	107	65	F	大 腸 癌 (早 期)
51	74	M	早 期 胃 癌	108	72	M	大 腸 癌 (早 期)
52	81	M	早 期 胃 癌	109	44	F	大 腸 癌 (早 期)
53	85	F	早 期 胃 癌	110	72	F	大 腸 癌 (早 期)
*54	85	F	早 期 胃 癌	111	72	F	大 腸 癌 (早 期)
55	76	M	早 期 胃 癌	112	46	M	大 腸 癌 (早 期)
56	77	M	早 期 胃 癌	113	70	M	大 腸 癌 (早 期)
57	75	M	進 行 胃 癌	114	74	F	大 腸 癌 (早 期)

No.	年齢	性別	病名
115	72	M	大腸癌（早期）
116	56	M	大腸癌（早期）
117	74	M	大腸癌（早期）
118	79	F	大腸癌（早期）
119	72	M	大腸癌（早期）
120	63	M	大腸癌（早期）
121	72	M	大腸癌（早期）
122	61	M	大腸癌（早期）
123	65	F	大腸癌（早期）
124	69	F	大腸癌（早期）
125	46	M	大腸癌（早期）
126	69	M	大腸癌（早期）
127	69	M	大腸癌（早期）
128	71	M	大腸癌（早期）
129	73	M	結腸癌（早期）
*130	84	F	大腸癌（進行）
*131	91	M	大腸癌（進行）
*132	77	M	大腸癌（進行）
*133	79	F	大腸癌（進行）
*134	79	M	大腸癌（進行）
135	74	F	大腸癌（進行）
136	74	M	大腸癌（進行）
137	79	F	大腸癌（進行）
138	75	F	大腸癌（進行）
139	74	F	大腸癌（進行）
140	77	F	大腸癌（進行）
141	72	F	大腸癌（進行）
142	72	M	大腸癌（進行）
143	77	M	大腸癌（進行）
144	69	F	大腸癌（進行）
145	81	F	大腸癌（進行）
146	67	M	大腸癌（進行）
147	76	M	大腸癌（進行）
148	80	M	大腸癌（進行）
149	69	F	大腸悪性腫瘍
150	72	F	大腸悪性腫瘍
*151	87	M	多発性骨髄腫
*152	77	M	多発性骨髄腫
*153	78	M	多発性骨髄腫
*154	78	M	多発性骨髄腫
155	72	F	早期乳癌
156	81	F	早期乳癌
157	54	F	早期乳癌
158	42	F	早期乳癌
159	72	F	早期乳癌
160	70	F	早期乳癌
161	73	F	早期乳癌
162	86	F	早期乳癌
163	57	F	早期乳癌
164	75	F	早期乳癌

* 付きの番号症例は被爆者

No.	年齢	性別	病名
165	61	F	早期乳癌
166	61	F	早期乳癌
167	66	F	早期乳癌
168	81	F	早期乳癌
169	50	F	早期乳癌
170	56	F	早期乳癌
171	52	F	早期乳癌
172	88	F	早期乳癌
173	78	F	早期乳癌
*174	88	F	早期乳癌
175	61	F	早期乳癌
176	50	F	早期乳癌
177	68	F	早期乳癌
178	47	F	早期乳癌
179	74	F	早期乳癌
180	68	F	早期乳癌
181	56	F	早期乳癌
182	55	F	早期乳癌
183	86	F	早期乳癌
184	85	F	早期乳癌
185	67	F	早期乳癌
186	49	F	早期乳癌
187	41	F	進行乳癌
188	68	F	進行乳癌
189	78	F	進行乳癌
190	48	F	進行乳癌
191	74	F	進行乳癌
192	62	F	進行乳癌
193	59	F	進行乳癌
194	47	F	進行乳癌
195	48	F	進行乳癌
196	70	F	進行乳癌
197	70	F	進行乳癌
198	53	F	進行乳癌
199	77	F	進行乳癌
200	87	F	進行乳癌
201	71	F	進行乳癌
202	35	F	進行乳癌
203	47	F	子宮頸がん
204	52	F	子宮頸がん（早期）
205	70	F	甲状腺癌
206	65	M	甲状腺癌
207	67	F	急性骨髄性白血病
208	38	F	慢性骨髄性白血病
209	71	M	慢性骨髄性白血病
210	30	F	非浸潤癌
211	69	M	前立腺癌
212	70	M	前立腺癌
213	65	M	前立腺癌
214	66	M	前立腺癌
215	66	M	腎細胞癌

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

(1) 調査研究の継続実施

現在、以下の研究について継続実施しており、その成果は関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表した。

- ・睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査
- ・加熱式タバコが喫煙に関連した自覚症状にもたらす影響についての検討
- ・健診結果に基づく癌と生活習慣病に関する横断ならびに後向きコホート調査
- ・高齢者における血清 NT-proBNP 値の意義についての観察研究
- ・高齢者における心血管危険因子と予後についての前向き観察研究
- ・中高年者における非空腹時脂質値に関する横断ならびに後向きコホート調査
- ・糖代謝異常症例における心血管危険因子と予後の検討
- ・被爆者の放射線被曝と動脈硬化ならびに循環器疾患の関連性についての研究

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集し、その活用を図った。

(3) 原子爆弾後障害研究会の開催

令和5年6月4日(日)、「第63回原子爆弾後障害研究会」をWeb開催した。研究会では、ワークショップが開催され6題が発表された。

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談

昭和36年、原爆被爆者福祉センター開設と同時に相談業務を開始したが、被爆者援護の積極的強化を図るため、昭和42年7月専任相談員を配置し、昭和53年11月には、来訪者の便宜を図って一階ロビーに相談コーナーを設置した。

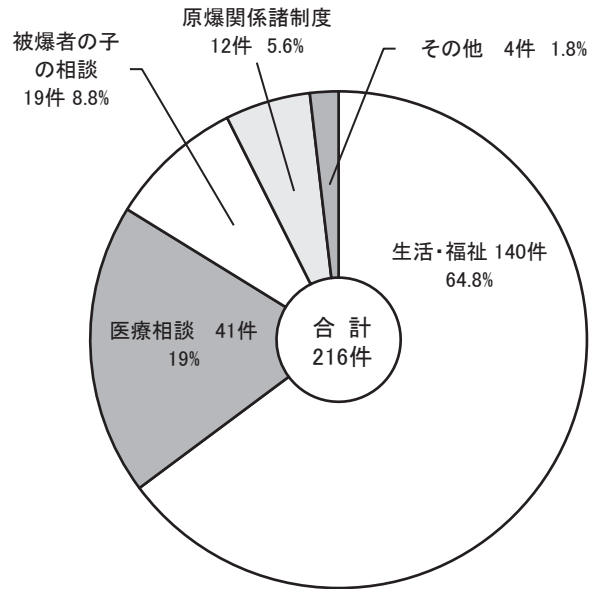
開設以来の相談件数及び令和5年度の被爆者相談の状況は下表のとおりである。

開設以後の相談件数

年度	件数(件)	年度	件数(件)
昭和36	51	平成元	4,530
37	29	2	4,074
38	19	3	4,183
39	30	4	3,525
40	46	5	3,451
41	68	6	3,482
42	240	7	3,512
43	334	8	3,576
44	465	9	3,393
45	626	10	3,758
46	910	11	2,911
47	626	12	3,414
48	507	13	2,817
49	568	14	2,572
50	871	15	2,522
51	1,241	16	2,455
52	1,746	17	2,084
53	2,566	18	576
54	3,174	19	625
55	2,319	20	566
56	3,676	21	601
57	3,057	22	503
58	2,852	23	414
59	2,660	24	394
60	3,283	25	371
61	3,086	26	323
62	3,454	27	337
63	5,333	28	301

年度	件数(件)	年度	件数(件)
29	288	令和3	207
30	263	4	203
令和元	233	5	216
2	194		

令和5年度の被爆者相談の状況



※平成18年度から集計方法を変更し、電話による問い合わせ等簡易な相談については、相談件数に計上しないこととした。

(2) 被爆者の援護措置

本協議会の原爆被爆者援護規程に基づき、被爆者の生活及び健康上の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援護の措置を講じている。

この財源は、全国から本協議会に寄せられる寄付金を基にして、次のとおり実施している。

- ア 被爆者援護金：被爆者の生活の維持向上を図るため、生活困窮者に月額10,000円を支給する。
- イ 被爆身障者等見舞金：夏季と年末の年2回、被爆身体障害者福祉手当受給者、在宅高齢者福祉手当受給者、小頭症手当受給者、被爆者援護金受給者を対象に見舞金を贈って慰問する。
- ウ 福祉用具貸与・購入費補助：住民税非課税世帯の介護保険福祉用具利用者に補助金を支給する。

エ その他の補助：以上のほか特に援護の必要を認められる者に、その都度経費の一部を補助する。

令和5年度の援護費支給状況は下表のとおりである。

令和5年度援護費の支給内容

種 別	人 員 (人)	支 給 額 (円)
被爆身体障害者等見舞金	16	140,000
福祉用具貸与・購入費補助	274	2,596,000
合 計	290	2,736,000

4 広島市健康づくりセンターの管理運営事業

令和4年4月から5年間引き続き広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの管理運営と健康教育事業及び子育て支援事業を行った。

(1) 健康教育事業

健康に関する科学的知識の普及啓発を図るため、子どもから高齢者までの各年齢層に応じた様々な健康問題について、最新で正確な情報を分かりやすく提供することにより、日常における健康管理について正しい知識の普及に努めた。

ア 健康科学展示施設の運営

人間のからだの仕組み、病気と健康、歯の健康等について子どもから大人まで興味を持って学習できる拡大模型・映像・グラフィックパネル等の展示を行った。

(7) 年間利用者数 36,828人

令和5年度健康科学館利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観覧者数 (人)	1,487	1,708	1,945	3,957	7,315	3,446	2,763	2,918	2,080	2,537	2,865	3,807	36,828
大人 (人)	821	952	1,143	1,944	3,383	1,811	1,366	1,526	1,110	1,321	1,479	1,849	18,705
小人 (人)	223	246	133	706	1,571	586	584	357	232	305	275	459	5,677
幼児 (人)	443	510	669	1,307	2,361	1,049	813	1,035	738	911	1,111	1,499	12,446
トータルヘルシアター (人)	196	183	189	272	327	324	203	243	198	225	274	368	3,002
上映回数 (回)	104	88	111	84	52	96	100	96	92	88	91	104	1,106
研修会議室 (人)	245	259	571	2,053	5,484	634	734	446	341	398	418	716	12,299
視察・見学 (回)			3	2				1		1	1	1	9
主催事業 (回)	6	5	8	11	24	10	8	6	11	6	6	9	110
共催事業 (回)		1								1			2
ビデオ上映 (回)	2	3	14	6	1	5	6	4		1	5	6	53
健康ライブラリー (人)	95	121	106	239	591	173	139	155	114	130	155	251	2,269
つどいの広場 (人)	530	630	875	1,195	1,479	1,247	1,112	1,151	1,007	1,141	1,406	1,627	13,400
大人 (人)	269	328	453	611	725	637	563	565	501	569	706	805	6,732
幼児 (人)	261	302	422	584	754	610	549	586	506	572	700	822	6,668

(イ) 企画展の開催 年 4 回

令和 5 年度企画展の観覧者数

名 称	期 間	日 数 (日)	観覧者数(人)			
			大人	小人	幼児	合 計
骨コツボーン! 鍛えてマッスル!!	令和5年3月11日~令和5年7月9日	82	3,452	704	1,862	6,018
みんな集まれ! あそびの世界へ	令和5年7月22日~11月5日	88	8,121	3,373	5,457	16,951
ウエル噛ム お口の健康づくり	令和5年11月11日~令和6年3月10日	93	5,413	1,090	3,944	10,447
からだは食でできている 地元食材でパワーアップ	令和6年3月16日~令和6年7月7日	13	1,148	332	705	2,185
合 計		276	18,134	5,499	11,968	35,601

(ウ) パネル展 年 12 回

イ 健康ライブラリーの運営

健康に関する最新の健康情報を提供した。

ウ 健康に関する教育研修の実施

- ・主催による研修会・イベント 年 48 回 参加者 1,544 人
- ・他の関係機関との共催による研修会 年 1 回 参加者 60 人

エ ボランティア（ヘルスサポーター）の育成・活動事業

- ・ボランティアの養成講座（6 課程） 年 1 回
- ・ボランティアの育成講座 年 3 回
- ・ボランティアの活動事業 年 432 回

オ 広報活動（TV・ラジオ・情報誌取材等） 開催数 141 回

カ 展示物・資料等貸出 4 回

(2) 子育て支援事業

ア ファミリー・サポート・センターの運営

保護者の都合による一時的なこどもの預かり、子育ての悩みなどに対応するため、ファミリー・サポート・センター（地域において子育ての援助活動を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織）を設置し、会員同士の子育てに関する支援機能の充実を図った。

(7) 会員の募集・登録など会員組織の管理運営

会員数 3,128 人（提供会員：316 人 依頼会員：2,780 人 両方会員：32 人）

【令和 6 年 3 月 31 日現在】

(イ) 援助活動の調整

マッチング件数 423 件

- (ウ) 提供会員登録講習会（援助活動に必要な知識の普及）（年1回9月）
- (エ) 会員同士の交流会 0回
- (オ) 会員講習会 3回
- (カ) 機関誌の発行 1回

イ つどいの広場の運営

子育て家庭の親と子どもが気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を設置することにより、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

- (ア) 常設のつどいの場の提供
- (イ) 子育てに関する相談援助
- (ウ) 子育て関連情報の提供
- (エ) 子育て等に関する講習会の開催 年25回
- (オ) 利用者数 13,400人（大人6,732人 幼児6,668人）

ウ パパとママの育児教室の運営

夫婦が協力して子育てを行うために、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図った。

プレパパママ育児スクール 年34回、参加者1,758人

5 検査診療及び人間ドック健診等の収益事業

- (1) 被爆者や市民の健康診断の結果、悪性疾患等が疑われた場合には、確定診断や病期判定のために詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等との連携により最善の方策を進めた。

また、広島市医師会員からの依頼による生体検査（CT・MRI・内視鏡検査・X線撮影等）を行い、積極的に外部医療機関との協力を推進した。

- (2) 健康保険組合・事業所・個人からの依頼による人間ドック健診、生活習慣病予防健診、事業所健診等の健診を実施した。健診結果に基づいて生活習慣の見直し等を指導し、病気の発症を未然に防ぐとともに、疾病を早期に発見し、早期治療ができるように健診活動を行った。

＜実施件数＞	人間ドック健診	2,030件
	生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	3,287件
	事業所健診	3,507件
	ストレスチェック	821件

6 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

- (1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線被曝者医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝者治療に役立てようと、平成3年4月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、医師等の受入（令和5年度は、4回にわたり16名の医師等の医療研修）を積極的に行った。

(2) 来日原爆被爆者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被爆者が来日の際、健康診断および医療相談等を実施するとともに、健康管理手当申請等の相談にも応じるなど、在外被爆者への援助を引き続き行った。

7 令和5年研究業績

(1) 学会発表

第14回 日本炎症性腸疾患学会 エキスパートと学ぶ若手のための症例検討(12月1日、神戸市)

- ・林亮平：S字結腸穿孔後に紹介となった大腸炎の1例

2023年度 日本炎症性腸疾患学会 医師向け教育セミナー(12月4日～令和6年1月31日、Web)

- ・林亮平：IBDの分子標的治療の特徴・使い方④-抗IL(12/23)抗体製剤-

(2) 講演会等

リンボック、スキリージ適応追加記念講演会 in 高知(1月20日、高知市)

- ・上野義隆：クローン病の病態に関する最近の話題

カログラ錠 Web 講演会(1月26日、広島市)

- ・上野義隆：非難治例における潰瘍性大腸炎治療薬の基本と実践

第38回 難病医療従事者研修会(2月17日、広島市)

- ・上野義隆：炎症性腸疾患診療の現状と就労への課題

Ulcerative colitis clinical practice seminar(3月10日、岡山市)

- ・上野義隆：改めて考えるUC治療におけるTNF阻害薬への期待

IBD Biologics Seminar 教育講演(4月13日、広島市)

- ・上野義隆：TNF阻害剤を再考する-UC治療におけるゴリムマブの役割

第15回 Research Seminar(4月25日、広島市)

- ・林亮平：炎症性腸疾患とインテグリン

第20回 広島消化器免疫研究会(5月16日、広島市)

- ・上野義隆：治療薬の作用機序からは見えてこないIBDの病態

リンボック、スキリージ適応追加記念講演会 in Okayama(5月19日、Web)

- ・上野義隆：難治性潰瘍性大腸炎の病態におけるJAK阻害の意義

潰瘍性大腸炎 web seminar 今更聞けないシリーズ2023(5月19日、Web)

- ・林亮平：潰瘍性大腸炎 難治例の治療

第63回 原子爆弾後障害研究会 ワークショップ(6月4日、Web)

- ・上野義隆：広島原対協における被爆者健診資料の保管状況と課題

UCカンファレンス(6月29日、広島市)

- ・林亮平：炎症性腸疾患と腸管外合併症

第102回 安佐消化器病フォーラム(8月30日、広島市)

- ・上野義隆：多角的アプローチにおけるクローン病の最新治療

Ulcerative colitis clinical practice seminar in 中四国(8月31日、web)

- ・林亮平：潰瘍性大腸炎におけるMOAチェンジによるBio治療

第7回 岩国IBD Meeting(9月5日、岩国市)

- ・上野義隆：改めて考える潰瘍性大腸炎治療におけるTNF阻害薬への期待

カログラ錠1周年記念講演会 in 高知(9月7日、高知市)

- ・上野義隆：病態生理から考えるUCの治療戦略

カログラ錠1周年記念講演会 in 東北 (9月13日、Web)

- ・上野義隆：病態生理から考えるUCの治療戦略

第12回 下関大腸疾患研究会 (9月14日、下関市)

- ・上野義隆：高齢UC患者に対する診療のポイント

カログラ錠1周年記念講演会 in 茨城 (9月27日、Web)

- ・上野義隆：病態生理から考えるUCの治療戦略

UC seminar in 徳島 (10月11日、徳島市)

- ・林亮平：TNF α 抗体製剤、先に打つか？後から打つか？

広島IBD expert forum 2023 (10月12日、広島市)

- ・林亮平：クローン病診療における現状と課題

東広島・備北UCセミナー (10月19日、東広島市)

- ・上野義隆：潰瘍性大腸炎治療におけるp19阻害の意義

UC Expert Web Seminar in West (10月28日、岡山市)

- ・上野義隆：潰瘍性大腸炎治療における抗TNF阻害剤の意義

東広島地区医師会学術講演会 (11月16日、東広島市)

- ・上野義隆：便通異常をきたす疾患の臨床

健康科学館でのヘルスサポーター養成講座の実施 (11月17日、広島市)

- ・稲田修吾：生活習慣と感染症

一般検査セミナー”EIKEN” (11月18日、大阪市)

- ・林亮平：潰瘍性大腸炎診療におけるバイオマーカーの役割

UC Specialist Seminar (12月7日、広島市)

- ・上野義隆：難治性UC診療の現状と課題

AbbVie IBD Immunology Week (12月11日、web)

- ・林亮平：クローン病診療における現状と課題

令和5年度 難病講演会・相談会 (12月15日、広島市)

- ・上野義隆：潰瘍性大腸炎の理解と最新治療について

(3) 著書

上野義隆：「炎症性腸疾患診療の現状と就労への課題」 難病と在宅ケア 2023 Vol.29 No.9,24-28

Ⅶ 資料

1 年度別被爆者数（広島市及び広島県）

広島市「原爆被爆者対策事業概要」より

（各年度末、単位：人）

年度	広島市	広島県	合計
昭和 32	74,610	32,342	106,952
33	79,400	36,531	115,931
34	82,476	38,611	121,087
35	82,831	43,713	126,544
36	87,752	48,716	136,468
37	92,796	51,153	143,949
38	93,608	51,014	144,622
39	93,393	53,113	146,506
40	92,911	57,204	150,115
41	95,627	64,768	160,395
42	94,975	71,574	166,549
43	92,921	75,987	168,908
44	91,389	77,442	168,831
45	90,336	81,233	171,569
46	92,090	80,881	172,971
47	108,764	66,812	175,576
48	108,690	66,624	175,314
49	114,411	62,874	177,285
50	114,542	65,219	179,761
51	113,384	66,253	179,637
52	112,738	66,699	179,437
53	111,811	67,228	179,039
54	110,717	67,799	178,516
55	109,612	68,356	177,968
56	108,870	68,211	177,081
57	108,208	68,208	176,416
58	107,093	67,550	174,643
59	113,885	59,322	173,207
60	112,871	58,856	171,727
61	111,433	58,121	169,554
62	110,392	57,580	167,972
63	109,118	57,046	166,164
平成元	107,459	56,250	163,709
2	105,599	55,579	161,178
3	103,818	54,889	158,707
4	101,939	53,958	155,897
5	100,188	52,851	153,039
6	98,473	51,844	150,317
7	96,929	50,766	147,695
8	95,260	49,630	144,890
9	93,637	48,577	142,214
10	91,940	47,173	139,113
11	90,184	45,451	135,635
12	88,592	44,367	132,959
13	86,779	43,246	130,025
14	85,065	41,995	127,060
15	83,732	40,739	124,471
16	81,649	39,427	121,076
17	80,509	37,381	117,890
18	78,111	35,987	114,098
19	75,642	34,561	110,203
20	73,388	33,027	106,415
21	71,194	31,619	102,813
22	68,886	30,498	99,384
23	66,660	28,926	95,586
24	64,302	27,388	91,690

年 度	広 島 市	広 島 県	合 計
平成 25	61,666	25,954	87,620
26	58,933	24,434	83,367
27	56,174	22,818	78,992
28	53,340	21,286	74,626
29	50,384	19,836	70,220
30	47,632	18,393	66,025
令和元	44,836	16,959	61,795
2	42,191	15,616	57,807
3	39,590	14,375	53,965
4	39,374	14,086	53,460
5	37,818	13,457	51,275

2 年賀寄附金配分金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	配分金額
昭和 34 35	原爆被爆者福祉センター本館建設	55,844,000	52,300,000
38	健診車、原爆被爆者福祉センター暖房設備設置	27,379,000	16,850,000
41	原爆被爆者福祉センター増築	92,100,000	41,000,000
43	テレビレントゲン装置、オートアナライザー設置	30,490,000	20,000,000
45	原爆被爆者福祉センター増改築	56,548,000	25,000,000
47	ハイゼルマーク X、コールターカウンター設置	59,000,000	29,000,000
49	コールターカウンター搭載健診車(1号車)購入 パンスパイロコンピュータ設置	39,828,000	24,000,000
51	胃検診用 X 線テレビジョン装置 コールターカウンター設置	43,900,000	23,000,000
53	X 線テレビジョン装置 胸部一般撮影用装置設備	37,600,000	23,000,000
55	自動血球分類装置(diff-3)	50,000,000	28,000,000
57	コールターカウンター搭載健診車(2号車)購入	42,800,000	28,000,000
59	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入	42,920,000	30,000,000
61	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-501) 胃透視用 X 線テレビ装置設備	76,000,000	40,000,000
63	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-201) CR 専用 X 線透視撮影台設備 CR 用光ディスク画像ファイル装置設備	156,000,000	70,000,000
平成 2	超電導 MRI 装置設置	83,430,000	50,000,000
4	コールターカウンター搭載健診車(2号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501(CR-501 更新)	78,000,000	46,000,000
6	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-201 更新) 光ディスク画像ファイル装置 集合型光ディスク画像ファイル装置	134,000,000	67,000,000
8	CR 用 X 線透視撮影装置 MRI 装置のバージョンアップ	92,000,000	36,000,000
10	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-7000 更新) 心電図データマネジメントシステム	73,500,000	25,725,000
12	MRI 装置(更新)	144,375,000	10,000,000
14	自動血球計算装置(更新)	21,315,000	7,460,000
16	全自動血球計算装置搭載健診車(2号車更新)	33,180,000	10,000,000
18	全自動血球計算装置搭載健診車(1号車更新)	27,615,000	2,060,000
20	超音波診断装置(更新)	12,915,000	4,916,000
22	全自動電気泳動装置(更新)	10,263,235	4,028,235
合 計		1,521,002,235	713,339,235

3 日本自転車振興会補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事・用地買収整備	46,885,000	29,150,000
42	原爆被爆者健康管理設備等の整備 健康診断用自動車整備・X線装置整備	5,565,000	2,550,000
43	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房設備工事・倉庫建設工事	15,401,000	5,430,000
平成元	原爆被爆者の診療機器の整備 CR専用X線透視撮影台 心電図自動解析ファイリング装置	74,469,000	37,234,500
3	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置・超音波診断装置	29,272,000	14,636,000
5	原爆症診療機器の整備 胃集検用X線デジタルラジオグラフィ装置	65,000,000	32,500,000
7	原爆症診療機器の整備 CR用X線透視撮影装置	36,000,000	14,420,000
9	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置	24,675,000	6,825,000
11	原爆症診療機器の整備 X線テレビ装置(DRシステム)	32,025,000	14,700,000
13	原爆症診療機器の整備 超音波診断装置配慮	16,695,000	8,242,000
合 計		345,987,000	165,687,500

4 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 53	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室の増改築、消防設備・機械室の整備 厨房・静養室・外壁の補修工事	22,550,000	7,560,000
62	原爆被爆者有福温泉療養研究所 ロビー事務室改修工事、食堂拡張及び内装工事 アルミサッシ取替及び木製建具工事等	21,390,000	14,260,000
平成 4	原爆被爆者有福温泉療養研究所 客室内装工事、アルミサッシ取替工事 外壁塗装及びボイラー・貯水槽更新等	45,629,000	29,520,000
9	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事、リネン室防水工事	36,236,500	15,300,000
10	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事	20,454,000	10,220,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	7,920,000
合 計		162,114,500	84,780,000

5 広島県補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,906,964	800,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	800,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	800,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	800,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	800,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	800,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	800,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,300,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,500,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,500,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,500,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,500,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,500,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,500,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,500,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,500,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,500,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,500,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,500,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,500,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,500,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,500,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,500,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,500,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,500,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,366,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,146,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,123,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	694,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	951,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,148,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	1,033,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
	合 計	411,917,521	101,303,000

6 広島市補助金による実施事業

(単位：円)

年度	事業名	事業費総額	補助金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,903,964	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事	46,885,000	9,727,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	1,000,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	1,000,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	1,000,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	1,000,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	1,000,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	1,000,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,500,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,700,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,700,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,700,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,700,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,700,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,700,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,700,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,700,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,700,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,700,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,700,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,700,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,700,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,700,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,700,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,700,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,700,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,530,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,530,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	1,329,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	1,300,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,300,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	715,520
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
	合 計	458,799,521	119,673,520

7 日本高等学校教職員組合等からの寄付金

(単位：円)

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
昭和 38	30,000	180,638	210,638
39	37,298	158,881	196,179
40	-	485,027	485,027
41	30,000	385,603	415,603
42	-	503,278	503,278
43	97,075	354,883	451,958
44	72,916	556,012	628,928
45	276,389	220,175	496,564
46	176,664	435,108	611,772
47	475,358	533,674	1,009,032
48	630,433	358,972	989,405
49	876,166	432,000	1,308,166
50	1,008,761	450,982	1,459,743
51	1,091,674	290,000	1,381,674
52	1,212,000	235,500	1,447,500
53	1,224,093	943,000	2,167,093
54	1,464,294	150,000	1,614,294
55	1,444,053	380,000	1,824,053
56	1,316,185	85,000	1,401,185
57	1,514,511	580,070	2,094,581
58	1,583,894	308,000	1,891,894
59	1,532,635	342,000	1,874,635
60	1,505,193	103,000	1,608,193
61	1,468,864	1,710,500	3,179,364
62	1,496,799	88,400	1,585,199
63	1,514,795	63,755	1,578,550
平成元	1,574,770	305,000	1,879,770
2	1,501,600	415,000	1,916,600
3	1,586,500	5,000	1,591,500
4	1,617,000	0	1,617,000
5	1,487,000	0	1,487,000
6	1,425,000	510,000	1,935,000
7	1,480,000	0	1,480,000
8	1,525,000	470,000	1,995,000
9	1,400,000	1,800,000	3,200,000
10	1,435,000	0	1,435,000
11	1,345,000	250,000	1,595,000
12	1,300,000	0	1,300,000
13	1,270,000	0	1,270,000

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
14	1,160,000	50,000	1,210,000
15	1,110,000	5,025,000	6,135,000
16	970,000	0	970,000
17	980,000	301,033	1,281,033
18	930,000	0	930,000
19	870,000	0	870,000
20	850,000	0	850,000
21	830,000	0	830,000
22	813,080	0	813,080
23	765,000	0	765,000
24	785,000	0	785,000
25	810,000	0	810,000
26	835,000	0	835,000
27	850,000	0	850,000
28	800,000	0	800,000
29	752,200	50,000	802,200
30	700,000	0	700,000
令和元	620,000	0	620,000
2	655,000	0	655,000
3	630,000	0	630,000
4	600,000	0	600,000
5	540,000	0	540,000
合計	58,882,200	19,515,491	78,397,691

8 全国から寄せられた寄付金

(資料7再掲、敬称略)

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
昭和29	239,486円	39件	埼玉県比企郡自然科学研究所, 中和孝三, 若月一夫, 広島ロータリークラブ, 無名子, 斉藤金三, 東京都渋谷区議員団, サンエッチ外, 中井一夫, 中島茂, 無名子, NHK一般募金, 大阪市立松宮小学校同窓会, 清水達造, 伊勢谷洋一, 増川義信, 広島美術人展, 岸英一, 毛利典攬, 米子市口陰田婦人会並青年団, 豊田郡大草村青年団○支部代表者吉田宣徳, 日本国民健康会長和気清喬, 吉本美枝子, 中野正義, 匿名, 中国電波管理局組合支部長, 石田ハル, 一凡人, 沢千代子, 田川一男・順二, 傷痍軍人会・長門労働組合連合会・長門連合青年会, 原爆障害者救援会会員一同, 一海上自衛隊員, 匿名人, 池田稔, 宮原高等学校弁論部, セタヤ・ピカッシュ・バーナジエ, 広島県博愛協議会中島茂, 池田稔
30	419,804円	38件	池田稔, 広島ライオンズクラブ会長寺田豊, 湯浅傳, 池田稔, 養○豊子外24名, 青山晴男, 佐々木一, 岩手小学校五年一組34名一同, アイラ・レ・モーリス, 広島県博愛協議会中島茂, 土岡博一, 能代市職域文化団体連絡協議会笹村堅一郎, 匿名, 奥田洋子, 法政大学県人会, 京都子供カリタス会, 一高校生, 朝枝章, 広島平和美術展事務局, 大阪T生, 匿名, 銀座東宝社長, 呉市宮原高校卒業生プラタナス会代表竹中三郎, 原水爆禁止小金井準備会長鈴木誠一, 海老名町青年団, 斉藤嘉輔・明子, 小倉市I子, 藤岡女子高等学校生徒会, ブラジル・マルネイラセーマ町より, 原田久, 高知県安藝郡教員組合, 原田東岷, ポートドーバーライオンズ倶楽部, セントピーターライオンズ倶楽部, 原爆惨禍相起協議会長遠藤南史, 美○ミシン工業株式会社, 近藤ミシン株式会社, 明治大学広島県人会
31	3,230,819円	98件	原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 島田平和の集い準備会島田市長, 北海道農民同盟青年部, 富山市奥田枝下婦人会, 島田市クリスタルクラブ, 森廉, 下呂平和を護る会準備会, 柳川小学校六年一組一同, 無名, 浜崎谷松, 落合一男, 藤村進, マレーヤング, 古谷良念, 無名子, 海上自衛隊○○隊十五分隊, 安芸教区仏青連協議会長○重一教, 渡辺弘子, 大阪住友金属工業会社外十二社, 東海田町青年団寺迫支部代表田原○男, 医師会卒業生無名氏, 横浜市新生活運動婦人○○会一同, 福家俊明, 野溝○人, ある少女, 森数美, 一女生, 大阪東区一高校女学生, 高橋信雄, 徳原芳子, 遠藤南史, 小林蘊徹, 梅林とし子, 榎原彰夫, 無名氏, 八・一五終戦記念平和の夕世話人会代表堀口恒次, 無名氏, ○○○○○○○○, 山口県豊田町殿居地区婦人会長岡崎あつ子, 服部保外十四名, 全国連合竹和会, 賀茂郡造賀村婦人会代表辻川静枝, 中山教進・○○○・国定典明, 神阪○子, 国鉄幡生工場原爆罹災者救援会小西旭, 山崎常雄外九名, 中学一少女, 東淀川平和の夕実行委員会, 古谷良念, 尾久母の会南支部・仲支部・東支部一同, 兄妹三人無名子, 茶谷京子, 田中卓爾, 広本露子, 大谷高校二年生, 高橋又一, 鉄砲町一吉方一, 元宇品小学校五年生一同, 大阪市内某氏, 菊池京子, 一中学校学級一同, 大原乙彦, 広島市原子力平和利用博覧会長渡辺忠雄, 井口愛之助, 大森植松, 柳田孝, 東京都共同募金会長藤山愛一郎, 兵庫県共同募金会長岡崎忠, 無名士盲人, 茨木県取手第○○学校生徒会長大久保征夫, 北米加州パークレー広島県人会長大館誓一, 大阪某氏, 無名氏, ○○孟範, 遠藤南史, 身体障害者厚明会長, 中国訪日京劇団代表・朝日新聞社, 井上敏子, 秋本庸夫, 山田千恵子, 大歳盛明, 太陽海運株式会社, 長井あきよ, 山田千恵子, 三人の友達, 成名小学校・鴨川中学校, 維信高等学校二年D組ひいらぎグループ, 広島県司法書士会員総会出席者有志, 全国司法職員労働組合広島支部, 宮崎迫彦, 安永隆夫, 金沢薫台高等学校二年修学旅行団, 羽昨高等学校生徒会, アーヴィンクンツ夫妻, 高木俊子, 羽田○良正, 益村弥太郎, クロンドチーク
32	149,684円	21件	大森シゲ, 山田○○○, 井木康秀, 赤川正章, 匿名氏, 山田千恵子, 斉藤明子, 読売新聞社新聞○○委員会, 取石小学校児童会, 金清公夫, 一青年, 宮原太郎, 下広井原青年団小川博○外十三名, 匿名, 栗栖勝, 久留米市匿名, 法政大学建築科一同, 城東中学校生徒会, 上田柳吉, 吉坂中学校原田耕滋外十四名, フレデークイン
33	293,316円	50件	日本原水爆被災者救援会代表篠原つる子, 増田呉省, Medizinische Klinik, 朝山カツノ, 江田島自衛隊○○学校生徒, ○○高校三年図書部・○○君子, 匿名, ドイツ医学週間法出版社, 東京田無町婦人連絡協議会, シチズン時計工場内文化部映画班, 田口正治, 大竹市小方中学生生徒会, 一無名士, 清香仏教青年会, 名田典子, 岩国市立東小学校五年二組一同, 橋詰博, 三立製菓株式会社・鈴木自動車工業会・○○トマト会外三社, 吉原信之, 斉藤明子, 漫画協団代表筑摩鉄平, 中豊純子・實二, 秋田県沖田○小学校五年生一同, 京都市一中学生, 第一製菓・三共○○・オリンパス光学・カミシマ製作社・小野田セメント・沖電気工業会社・三菱電気・東芝商事, 高校生二名, 梅津町青年団西江支部, 横山妙, 田口正治, ○○無名氏, 大洲病院一同, 築地子供会,

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
34	575,892 円	32 件	東町連合子供クラブ一同、川崎市東芝〇附工、段原女子女学園中学一年六組一同外匿名三、野口あき、東京電気大学〇〇学校・浜田加代子・土肥邦雄・三村豊・タクシー運転手・松下和義・山田洋士・東京忍岡高校生・〇川〇〇、屋代小・中学校・戸倉中学校、匿名、広島県〇〇〇・吉本勝・浜田カヨ子、山田千恵子、高橋昭博、杉渕徳治、山田千恵子、河野次郎・県教職組合・乃美小学校 6 年〇組、〇尾富美子、浜田加代子、土肥邦雄、三村典子、松下和義
35	78,957 円	17 件	丸本杏男、山田千恵子、日本むつみ会、山田千恵子、奈良県一〇人、山田千恵子、吉岡隆夫、神戸市親和高校グループ、日本むつみ会老生、山田千恵子、金沢兼之助、東京福祉協会理事小祝昌弘、四人の女月光仮面、一読者、愛知トマト KK 他 7 社、日本むつみ会老生、(匿名)、大阪一女性、匿名者、田口正治、グレチエン・タットヒル、古賀和紀、グレチエン・タットヒル、金光教群馬県西部連合会、藤村弘、全日労組合広島地方会議組合員、篠村つる子、香川県千羽鶴運動実行委員会、イタリア生、(匿名)、浦辺和美外三名、徳竹道生外一名
36	1,935,402 円	30 件	広島予研支所匿名、広島予研支所匿名、アーサー・マリー・アイビンダー、赤松鉄也、赤松鉄也、匿名、篠村つる子、金子健次郎、大阪 K.E.氏、匿名、匿名、山田千恵子、山田千恵子、森新一、山田千恵子、原水爆禁止大川市協議会長古賀清治、広島県競輪選手会
37	140,129 円	19 件	紺野光吉、紺野光吉、日本原水爆被災者救援協会代表富井令子、石田久子、山田キク、関つる、山蔭貫之、関つる、紺野光吉、日本電装労働組合、ルイス・カヴレル、匿名、匿名 2 名、全大丸労働組合神戸支部、全国財務労働組合、紺野光吉、原田東岷、安佐郡長東地区婦人会長原田静枝、寺本典夫、佐藤富子、土井憲策、山崎君子、愛知県立明和高等学校定時制夜間課程職員生徒一同、石川県立工業高等学校デザイン科有志、紺野光吉、原爆傷害調査委員会代表ジョージ・B・ダーリング、紺野光吉、柿原幸二、小崎芳子、紺野光吉
38	210,638 円	23 件	紺野光吉・無名氏、三次中学校、三次町本通一子供会、紺野光吉・匿名、山田千恵子、小川亀三、日〇一社員外三氏匿名、紺野光吉・m.y.、清水芳郎、駒込学園一同、呉造船労組宮原地区家族会、日本司法書士会連合会総会出席者、東大教育学部高校一年 A 組、板木節夫、藤田正行、河原卓一、安永茂雄、日下部春一、岩滝宗雄
39	196,179 円	18 件	神戸市育英高等学校一年十組、中村勝弥、奥田光太郎、空調タイムス社代表取締役杉本英太郎、大歳盛明、志村寛一、ノートルダム清心高等学校三年生一同、山田千恵子、山田千恵子、徳島県民主社会主義青年連合組織部長岡内淑夫、般若太郎外七口、岡本稔雄・吉田町役場職員組合、村上春雄、ロスアンゼルス・シカゴミヤコ観光団、日本高等学校教職員組合、中川シゲノ、山口親愛教会 S 氏、(匿名)、本間妙海、匿名、村上和輝、日赤東京都支部寄託、読売新聞社寄託
40	485,027 円	23 件	読売新聞社寄託 2 名、日赤東京都支部寄託、匿名、山田千恵子、中国新聞社会事業団寄託、政治経済研究会代表番匠朝昭、日本高等学校教職員組合代表磯本達則、中国新聞社会事業団寄託、土手和海外二名、原水爆禁止門〇市協議会会長東重太郎、金沢なでしこ会三人、金光教広島県連合会外二件、岐阜県立中津高等学校職員二学年一同、黒瀬町上黒瀬小学校五年生一同、福島県石川実務学園長外三ヶ所、朝日新聞山口支局寄託、石川県立金沢高等学校二四ホーム一同、大〇七一
41	415,603 円	18 件	神戸新聞厚生事業団寄託、石川県金沢高等学校修学旅行団、パリ大学医学部ウェーグマン教授夫妻、中川製袋化工 KK35 周年記念会招待者一同、〇生製作所労組、渋谷区代々木善明会教団、全国自動車産業労働組合連合会東海支部、山形県 16 歳学生、中島マチ、豊島区 S.K、こばやし、塚本利光、大豊〇樹、尾川昭外七ヶ所、比和中学校福田部落会生徒、キリンビール労働組合広島工場支部長〇〇永〇〇、松岡洋子・岡本・玉置せき、東京電気大学高校普通科二年生一同、日本大学豊山学園友輪会、豊橋市時〇〇高校二年一組一同、豊川地方労働組合、〇田照夫、石本タケノ
42	503,278 円	21 件	喫茶ガーネット、小池静子外二名、県内に住む一女性、三宅千代子、日本高等学校教職員組合中央執行委員長磯本達則、善明会教団東京支部、セント・ジュール博士、右田辰雄・原水爆禁止議員連盟外二名、東京電機工業高等学校定時制及全日制生徒〇〇〇キリスト〇〇、大阪市旅行クラブ「浪花会」、国際協力及軍備に関するオーストラリアニューージーランド委員会、吉田達雄、安田火災労働組合東京分会青年婦人部一同、土井憲作、南千田ヘルスセンター、山本雅子、矢沢一民、旧普通科神〇高等学校一年三組
			川上ナルエ、堤健一郎、徳原スミ子、飯田商店外二者、杉山博康、小松修、神戸外大二部原水禁実行委員会一同、片山茂樹、法眼〇外五件、三次市栗原町婦人会外二件、新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶円、読売新聞社寄託、金洞海、山形 KO 東京電機大学高校工業科二学年一同・定時制四年 C 組一同、奈良県青龍寺小西妙淳、全日本印刷工業組合連合会中国地区印刷工業組合協議会広島県印刷工業組合、フランス人シャ

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
			ンボイゼ, 新田修三, 関川守彦, 下松市私立慈光園長・匿名梓蔭高校
43	451,958 円	20 件	日本高等学校教職員組合, 長崎原子爆弾被爆者対策協議会長諸谷義武, 日本火薬福山工場ダンス同好会一同, 本田英郎, 日本高等学校教職員組合, 大口あさを, 金井政吉, 姫路市匿名, 舟入本町商店街, 広島市の者, 藤井音次郎, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶圓, 沖一成, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合, 東海大学原子力教室, ビクターオート(株)広島営業所, 酒井幸四郎, 藤井音次郎, 藤井音次郎
44	628,928 円	23 件	香川県高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 藤井音次郎, 水木ナツ, 藤井音次郎, 小島静江, 金井政吉, 入田律子, 舟入本通会, 一老人, 田中茂, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 日本高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 桂雄一, 徳山市蟻の会代表水木敏郎, 鈴川寅二, ヒロスイ株式会社社員加賀愛万・下岡好一・西村浩, 鯉城クラブ, 藤井音次郎, 大園英彦, 藤井音次郎, 小野広秋
45	496,564 円	27 件	藤井音次郎, 友広和夫, 一匿名者, 一匿名者, 金井政吉, 匿名の一少女, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 藤井音次郎, 神戸市職青年部神戸市葦合区役所・神戸市生田区役所有志, 堀内登久子, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 匿名者, 湧井雅晴, 小西清, 高田和典, 法政大学女子高校 1 年 F 組, 岩室久一, 横光利之, 苫小牧西高等学校新聞局, 明大附属中野中学校 2 年生, 藤井音次郎, 一市民, 狩野重治, 藤井音次郎, 岡野チヨノ, 八木千代, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一
46	611,772 円	19 件	藤井音次郎, 藤井音次郎, 金井政吉, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 柴崎英治, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 三重県立紀南高等学校修学旅行団一同, 藤井音次郎, 今田稔穂, 広島木工製材機械協会, 森崎律子, 藤井音次郎, 広島市匿名氏, 安佐ボール社長武智義則, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 藤井音次郎
47	1,009,032 円	20 件	山口大学 YMCA 代表者山崎まり子, 藤井音次郎, 松川宣正, 松川宣正, 広島市 Y 子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店長小野敏次, 広島市無名氏, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 新谷五郎, 松坂次男, 藤井音次郎, 原田東岷, 飯田昭二, 藤井音次郎, エア・ポートレーン支配人登勝志, 広島市民無名氏, 福岡県立浮羽高等学校二年五組グループ代表野上美由貴, 岩手県釜石南高等学校社会研究部長佐藤三良, 藤井音次郎
48	989,405 円	13 件	広島木工製材機械協会会長金子堅一, 藤井音次郎, 大高美代, 岡儀造, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店従業員代表支店長小野敏次, 原水爆禁止十日町市協議会書記長南雲藤平, 藤井音次郎他, 藤井音次郎, 岡正造, 藤井音次郎, 甚兵衛ボールガータスクラブ代表進藤芳樹, 藤井音次郎
49	1,308,166 円	11 件	渡辺ツルコ, 足門ミドリ, 日本高等学校教職員組合, 広島市内原爆被爆者, 原水爆禁止十日町市協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長木山八郎, 奥野ワカヨ, 広島市原爆被爆者, 市山律子, 上山しのぶ
50	1,459,743 円	11 件	坂本悦治, 乙井ミツエ, 愛媛県立南宇和高校生生徒会顧問武田裕典, 広島市民被爆無名者, 広島第一劇場代表取締役吉田尚行, 広島木工製材機械協会会長金子堅一, 西部浩子, 日本高等学校教職員組合, 関が原石材労働組合中央執行委員長村瀬秀夫, 初倉利明, 西部浩子
51	1,381,674 円	4 件	広島鉄道管理局広島工場桂哲雄, 河野和夫, 日本高等学校教職員組合, 長崎正明
52	1,447,500 円	7 件	大山ミチ子, 松上年雄, 広島木工製材機械協会, 東京の一学生, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長斉藤啓夫, 清水由紀子, 高橋彰温
53	2,167,093 円	9 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長中川金作, 浜井澄人, 山口能弘, 荒木邦男, 山田春三, 府中農協病院植田繁男, 川村法人
54	1,614,294 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 東洋工業 K.K. 監査部主管初倉誠
55	1,824,053 円	4 件	寺岡聖, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 森崎利樹, 藤井幸子
56	1,401,185 円	4 件	高野慶子, 山口大学平和キャラバン隊, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 巖利文
57	2,094,581 円	5 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長服部寛信, 山口大学ユネスコクラブ第 12 回平和キャラバン隊, 花田実男, 栃木県鳥山女子高等学校三年一組一同, 大阪産業大学教職員有志によるチャリティーバザー実行委員会
58	1,891,894 円	6 件	大高美代, 京極春子, 山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫
59	1,874,635 円	9 件	全日本宗教用具組合連合会, 大高美代, 大熊開市, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫, 中野ツルエ, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市
60	1,608,193 円	12 件	大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
61	3,179,364 円	11 件	大熊開市, 大熊開市, 松坂次男, 大熊開市, 大高美代, 日本生命中央営業部藤本勇他職員, 一匿名者, 日本高等学校教職員組合, 酒井真司, 山村智寿子, 新中央工業株式会社代表取締役本部長中西忠彦
62	1,585,199 円	5 件	財団法人多山報恩会, 大高美代, さくらタクシー社長藤谷源市, 日本高等学校教職員組合, 匿名者
63	1,578,550 円	6 件	森田長昭, 匿名者, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 紀州アート株式会社, 匿名者
平成元	1,879,770 円	5 件	藤原雄, 広島木工製材機械協会会長前田静正, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 柘植正
2	1,916,600 円	5 件	柘植好江, 石田ヒサ子, 藏本淳, 大高美代, 日本高等学校教職員組合
3	1,591,500 円	2 件	大高美代, 日本高等学校教職員組合
4	1,617,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	1,487,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
6	1,935,000 円	4 件	日本高等学校教職員組合, 縁生の友の会, 中尾隆, 向井幸枝
7	1,480,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
8	1,995,000 円	6 件	日本高等学校教職員組合, 津川弘道, 田中文枝, 松坂紘一郎, 茅原春夫, 前田千代子
9	3,200,000 円	5 件	日本高等学校教職員組合, 高原義明, 杉本純雄, 伊藤文明, 伊藤千賀子
10	1,435,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
11	1,595,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 原田義弘, 毛利佳代子
12	1,300,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
13	1,270,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
14	1,210,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 藤岡マツエ, 山田ツユ子, 国会職員組合連合会
15	6,135,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国原 浩, 国会職員組合連合会
16	970,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
17	1,281,033 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国会職員組合連合会, 第 27 回日本健康増進学会
18	930,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
19	870,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
20	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
21	830,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
22	813,080 円	1 件	日本高等学校教職員組合
23	765,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
24	785,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
25	810,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
26	835,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
27	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
28	800,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
29	802,200 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 広島市小児科医会長森美喜夫
30	700,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
令和元	620,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
2	655,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
3	630,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
4	600,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	540,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合

9 核兵器廃絶・平和建設広島県民会議からの寄贈物品

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
45	毛糸編機6台、ラジオ1台	292,000
46	カラーテレビ1台、長イス11脚	237,000
47	フィルム保管庫5台	125,000
49	フィルム格納庫9台	251,000
50	スロンブエラストグラフ1台、毛糸編機4台	1,750,000
52	顕微鏡1台、毛糸編機3台	442,000
53	胃カメラ1台	1,210,000
54	気管支ファイバースコープ1台	1,300,000
55	眼底カメラ1式	1,385,000
56	ガストロファイバースコープ1台	1,500,000
57	ガストロファイバースコープ1台	1,313,500
58	大腸ファイバースコープ1台	1,411,000
59	気管支ファイバースコープ1台	1,115,000
60	オートプロジェクター1台、内視鏡格納棚1台、吸引器1台	915,000
61	ガストロファイバースコープ1台	1,300,000
62	顕微鏡2台	1,009,000
63	超音波診断装置備品	1,044,000
平成元	顕微鏡1台	1,510,000
3	全自動身長体重計	708,000
5	体内脂肪計一式、吸引器、検眼鏡1組、パルスオキシメーター1台	958,106
6	体内脂肪計一式、インターバル・パワートレーニング・マシーン	826,825
7	造影剤遠隔注排装置一式	1,000,000
8	血圧監視装置、視力表照明装置	994,980
9	酸化電位水生成機	875,000
10	ホルター自動連続血圧計、エルゴメーター、マイクロチューブ用遠心機	907,370
12	自動グルコース測定装置	1,500,000
14	上部消化管用スコープ	1,491,000
16	全自動グルコース測定装置	1,250,000
18	内視鏡洗浄器	1,249,500
20	超音波診断装置プローブ1台、ゼリーウォーマー1台	893,550
22	電子スパイロメータ	999,600
24	多機能心電計	997,500
26	ホルター自動連続血圧計1式、電動昇降台2式、3クランクベッド プレグラースーパーマットレスベッドサイドレール1式	999,994
28	内視鏡洗浄消毒装置3台	1,499,040
30	全自動血圧計診之助Slim3台、ノンコンタクトタイプトノメーター1台	1,499,904
令和2	アトム診療ユニット EU-70α 湿式クスクウォーマー付/洗浄装置付1台、全自動身長体重計1台	1,499,300
4	内視鏡洗浄消毒装置3台	1,500,000
	合 計	39,759,169

※ ただし、平成6年度以降は、核兵器廃絶・平和建設広島県民会議が広島市に寄贈した物品を、同市から貸与されたものである。

10 日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品

(単位：円)

年度	寄 贈 物 品	評 価 額
平成 10	気管支ファイバースコープ 1 組、高周波焼灼電源装置 1 台	2,477,916
13	自動赤血球沈降速度測定機 1 台 赤沈管 100 本	1,839,915
15	下部消化管用細径スコープ 1 本、カラービデオプリンター 1 台	3,200,400
	合 計	7,518,231

11 職員

(令和6年7月1日現在)

課・科名	職名	氏名	
事務局		事務局長	長 敏伸
	総務課	課長	岡田 一彦
	経理課	課長	坪井 誠
	健康管理課	(兼)課長	坪井 誠
健康管理・ 増進センター		所長	上野 義隆
		部長	佐々木伸夫
	総合受付課	課長	本山かおり
	総合健診科	科長	平野 千尋
	精密健診科	部長	松本 善明
	放射線科	技師長	吉川 健
	ドック健診科	部長	小島 純
	検査科	技師長	高本 美保
	看護科	看護師長	細木 由美
健康科学館		館長	前田 育子
	管理課	(事)課長	前田 育子
	教育課	課長	平原 成美

事業概要 令和6年（2024年）版

公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目8番6号
広島市総合健康センター内

TEL 082-243-2451(代表)

FAX 082-241-0414

URL <http://www.gentaikyo.or.jp/>
